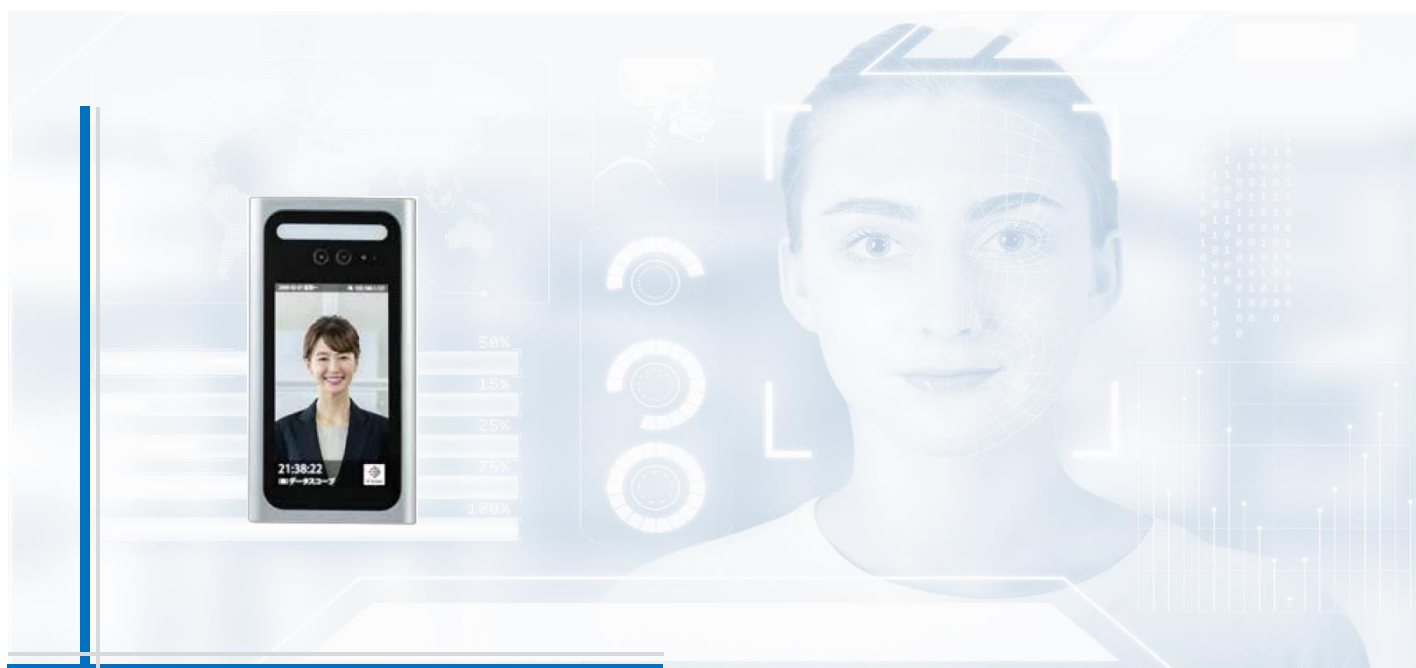


操作説明書

顔認証デバイス Face FC STD-TACX1270 第 1.4 版



— 目次 —

1. はじめに	4
1.1 付属品の確認	4
1.2 ケーブルの説明	5
1.3 レンズ・ライトの説明	6
2. 設定画面へのログイン	7
2.1 TCP/IPの設定	7
2.2 設定用 PC と本機（スタンド）との接続	10
2.3 設定画面へのアクセス、パスワードの設定	10
2.4 時刻同期	12
2.5 ActiveX プラグインのインストール	12
3. 登録者管理	15
3.1 登録者情報画面	15
3.2 登録者の追加	16
3.3 情報修正画面	18
3.4 エクスポート	19
3.5 登録者の一括追加	20
4. アクセス制御管理	23
4.1 アクセス制御設定画面	23
4.2 時間帯設定	24
4.3 権限グループ	25
5. アラーム管理	30
5.1 アラームイベント（ブラックリストアラーム）	30
5.2 アラームイベント（ドア開放タイムアウトアラーム）	31
6. 通信設定	32
6.1 ネットワーク設定（TCP/IP）	32

6.2	ネットワーク設定（ポート）	33
6.3	周辺機器設定（シリアル設定）	34
6.4	周辺機器設定（ <i>Wiegand</i> 設定）	35
7.	ログ検索	39
7.1	操作ログ	39
7.2	検出ログ	40
8.	デバイス管理	41
8.1	高機能設定（情報表示のカスタム）	41
8.2	高機能設定（通知表示設定（顔認証））	43
8.3	高機能設定（通知表示設定（カード））	44
8.4	高機能設定（識別設定）	45
8.5	高機能設定（マスク検出）	46
8.6	高機能設定（ <i>QR</i> コード設定）	47
8.7	高機能設定（カード設定）	48
8.8	画像設定	49
8.9	日付設定	50
8.10	基本設定	51
8.11	デバイス休止	52
8.12	スクリーンセーバー設定	56
9.	システム管理	58
9.1	アカウント管理	58
9.2	システムメンテナンス	59
9.3	システム情報	62
10.	プラットフォーム接続	63
10.1	自動登録	63
10.2	<i>WebSocket</i> 登録	63
10.3	<i>HTTP</i> リバース登録	64
10.4	プラットフォーム構成	64

11. facetCloud セットアップ	65
11.1 facetCloud セットアップ手順	65
11.2 facetCloud 接続確認	66
11.3 facetCloud と接続できないときは	67
12. RS-485 セットアップ	68
12.1 RS-485 セットアップ手順	68

1. はじめに

本書は顔認証デバイス（FaceFC ※以下本機と記載）の操作説明書です。
対象となるファームウェアバージョンは 2.396.11.94.T 以降です。

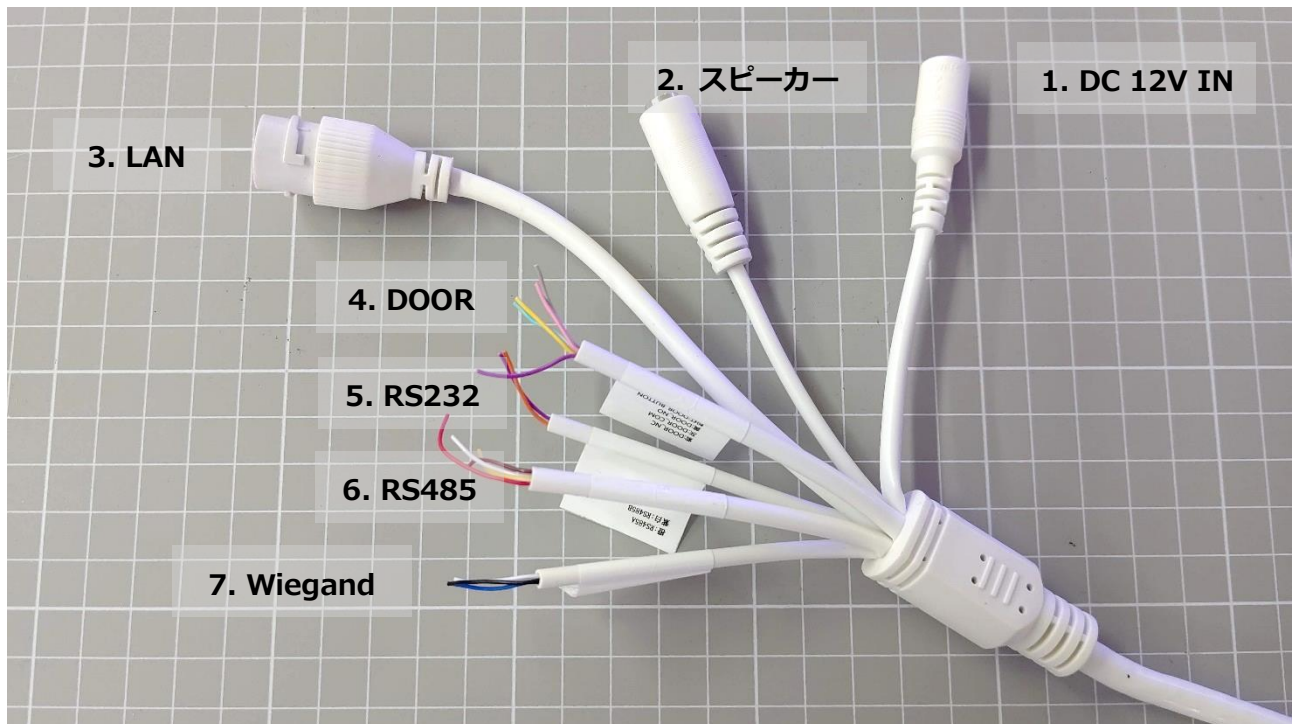
1.1 付属品の確認

箱を開けて、以下 3 点が揃っていることをご確認ください。製品は品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一足りないものがあった場合、違うものが入っていた場合、破損していた場合は、弊社担当営業までご連絡ください。



1.2 ケーブルの説明

本機には以下のインターフェイスが設けられています。

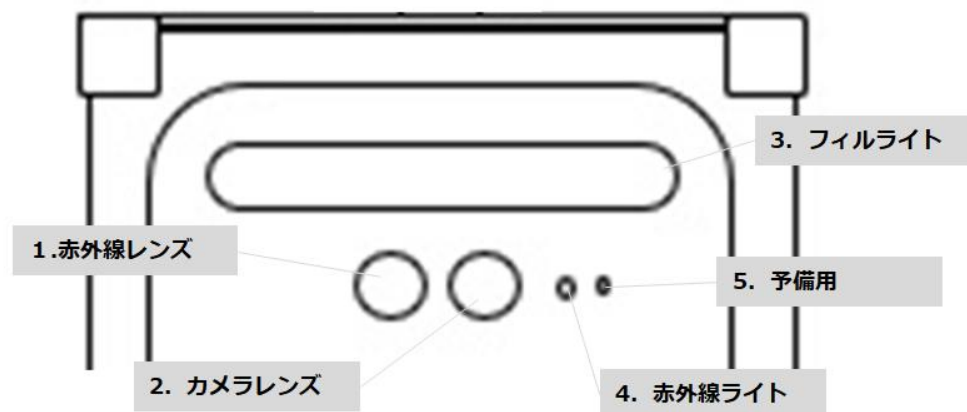


インターフェイス	説明
1. DC 12V IN	電源入力 : DC12V、2A 極性 : センタープラス DC プラグ形状 : 外径Φ5.5mm／内径Φ2.1mm
2. スピーカー	外部スピーカーへのコネクタ 3.5mm ステレオミニプラグを接続 (本体、接続先双方に音が出ます)
3. LAN ポート	RJ45 10BASE-T、100BASE-TX
4. DOOR ポート	アクセス制御リレー接続 紫色 : DOOR_NC 灰色 : DOOR_COM 黄色 : DOOR_NO 桃色 : DOOR_BUTTON 緑色 : DOOR_SENSOR
5. RS232 ポート	外部 RS232 デバイス接続 茶色 : RS232 RX 白色 : RS232 TX アラーム入カインターフェイス 白黄 : ALARM IN 赤 : DEFAULT KEY (機器初期化用)

6. RS485 ポート	橙色 : RS485A 紫白 : RS485B
7. Wiegand ポート	黒色 : GND 青色 : WG D0 (Wiegand PIN1 に対応) 白青 : WG D1 (Wiegand PIN2 に対応)

1.3 レンズ・ライトの説明

本機には以下のカメラ・ライトが設けられています。



デバイス	説明
1. 赤外線レンズ	認証者の温度、奥行きを検知、偽装判定に使用
2. カメラレンズ	認証者の検知、画像撮影に使用
3. フィルライト	カメラレンズの照明に使用
4. 赤外線ライト	赤外線レンズの照明に使用
5. 予備用	動作していません

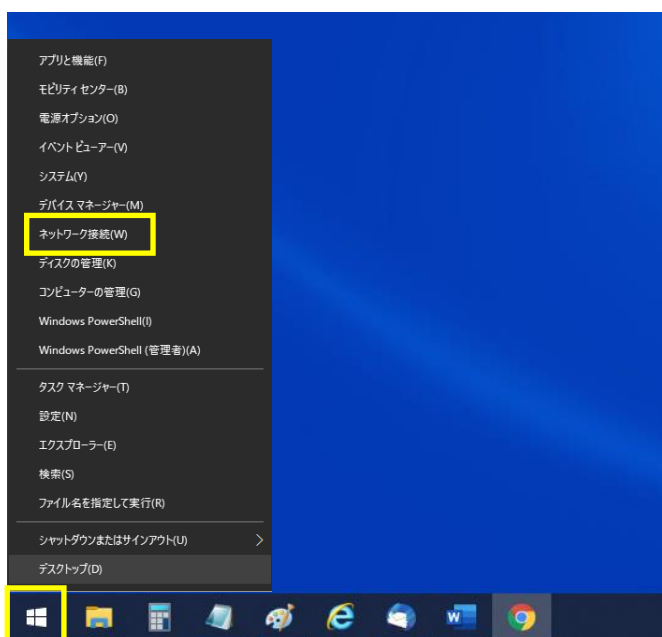
2. 設定画面へのログイン

本機は Web インターフェイスを搭載しており、Web ブラウザにより設定が可能です。

2.1 TCP/IP の設定

下記手順に従い、設定を行う PC の IP アドレスを本機と同じ 192.168.1.x のネットワークに合わせます。

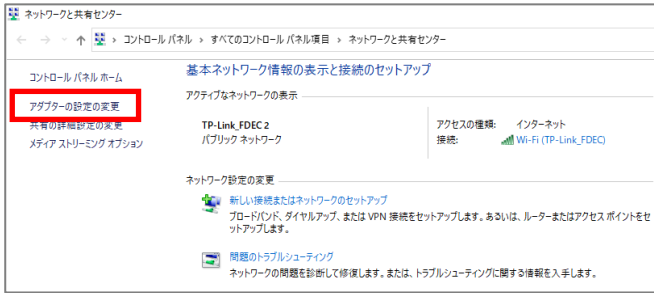
※手順は Windows10 を例にしております。



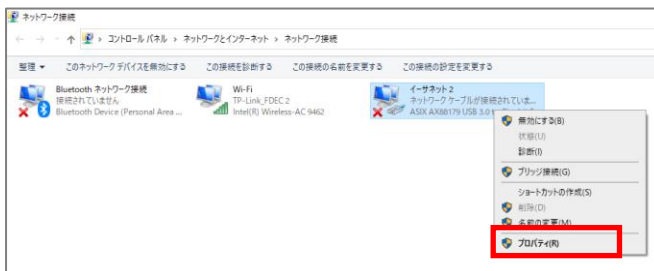
① デスクトップ左下の Windows ボタンを右クリックし、一覧の中から「ネットワーク接続」をクリックします。



② ネットワークの状態が表示されたら、画面下の「ネットワークと共有センター」をクリックします。

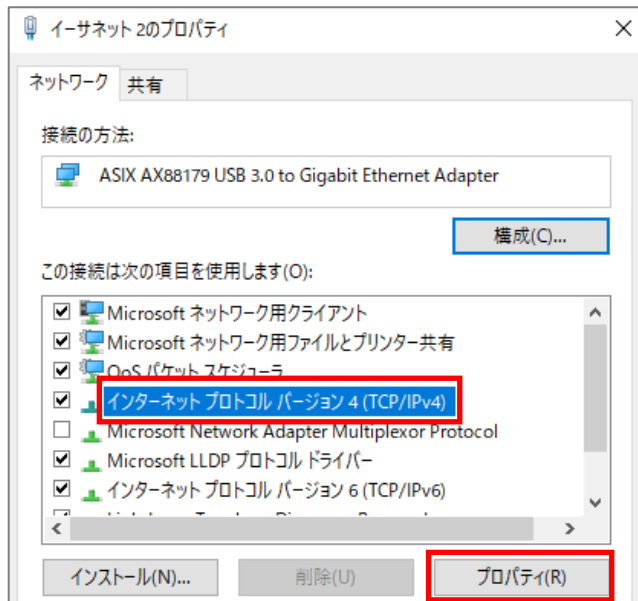


③ ネットワークと共有センターが表示されたら、「アダプターの設定の変更」をクリックします。

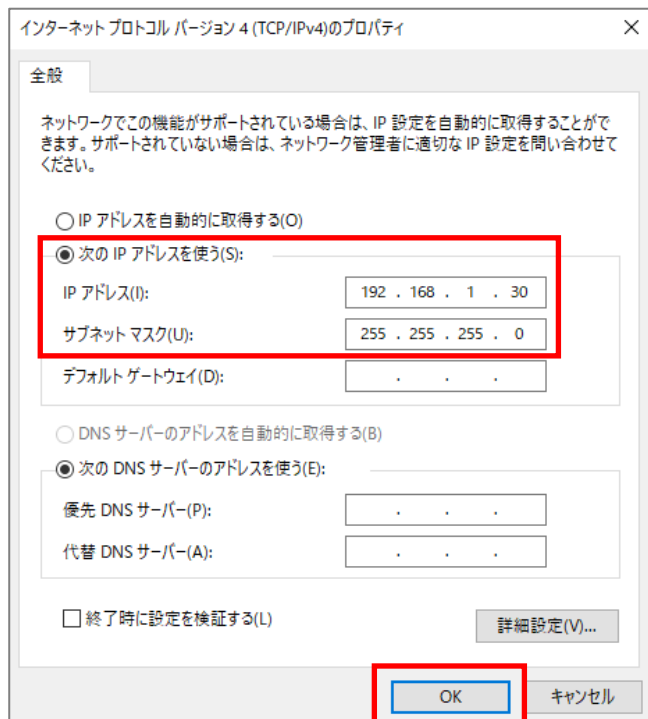


④ ネットワーク接続が表示されたら、「イーサネット」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

※お使いの環境により左図のようにイーサネットの後ろに番号が入る場合があります。



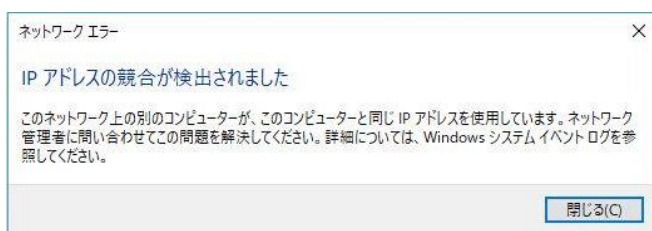
⑤ イーサネットのプロパティが表示されたら、「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」をクリックして選択し、「プロパティ」をクリックします。



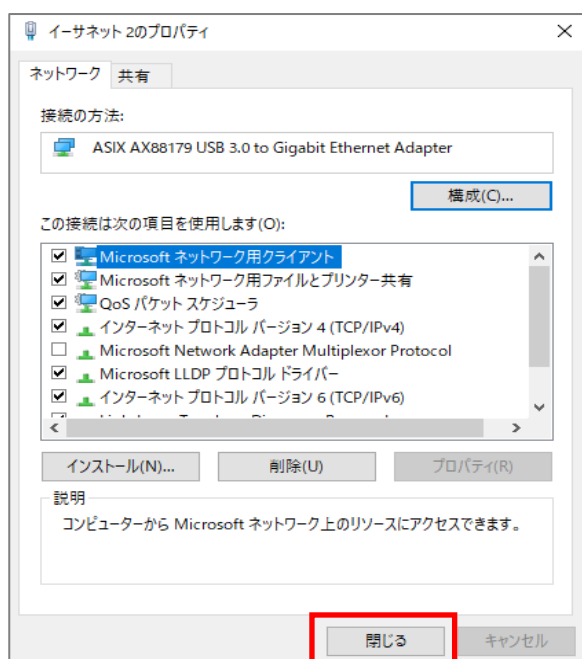
※あらかじめ IP アドレスが設定されていた場合は設定されている値をメモに控える、スクリーンキャプチャを残す等して記録してください。

⑥ プロパティが表示されたら、「次の IP アドレスを使う」に点を入れて、IP アドレスを「192.168.1. x（x は **64 を除く** 2～254 までの任意の数）」、サブネットマスクを「255.255.255.0」と入力して「OK」をクリックします。

※左図では例として x を 30 で設定しています。
※本機の IP アドレスは工場出荷時に 192.168.1.64 で設定されております。



※IP アドレスの競合が検出された場合は、192.168.1. x の x を別の値で再設定してみてください。



⑦ イーサネットのプロパティに戻ったら「閉じる」をクリックします。

「ネットワーク接続」、「ネットワークの状態」画面は×ボタンで閉じます。

2.2 設定用 PC と本機（スタンド）との接続

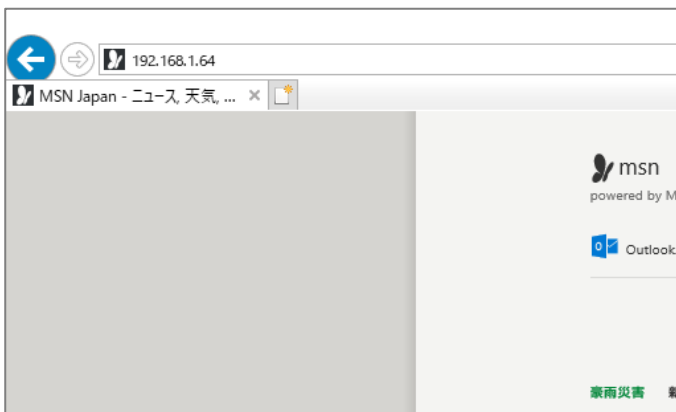
設定用 PC と本機（スタンドに取り付けている場合はスタンドの LAN コネクタ）を LAN ケーブルで接続します。



2.3 設定画面へのアクセス、パスワードの設定

本機の設定画面へアクセスします。

本機の設定画面へのアクセスは「Microsoft Edge IE モード」をご使用ください。



① Microsoft Edge IE モードを起動し、URL に本機の IP アドレスを入力、Enter キーを押します。

■ 本機工場出荷時 IP アドレス
192.168.1.64



D-Scope

ユーザ名

パスワード

☐ パスワードを記憶する

ログイン

② ログイン画面が表示されたら、下記ログイン情報を入力し、「ログイン」をクリックします。

■ ログイン情報

・ ユーザ名 : admin

・ パスワード : 設定したパスワード

※ 本機工場出荷時のパスワードは「admin123」となっております。



パスワード設定

ユーザ名 admin

パスワード

パスワード確認

パスワードには大文字、小文字、数字、特殊文字を2つ以上含めてください。特殊文字に引用符、コロン、セミコロン、アンパサンド、スラッシュ、バックスラッシュ、\$を使用できません。

確定

※ 本体を工場出荷設定にした際は、左記画面が表示されますので、画面の記述に従い、パスワードを設定してください。

万一、パスワードがわからなくなった場合は、本体の電源が入った状態で、本体の「黒色 (Wiegand の GND)」と「赤色 (RS232 の DEFAULT KEY)」ケーブルの被覆を剥いて、2.5 秒～5 秒接触→2.5 秒～5 秒開放→2.5 秒～5 秒接触の動作にて、本体が再起動し工場出荷状態に戻り、パスワードはリセットされます。

※ v85R までは 5 秒接触だけで初期化される実装

工場出荷状態に戻すと、本体に登録されている人物のデータ、設定内容は全て初期化されます。

2.4 時刻同期



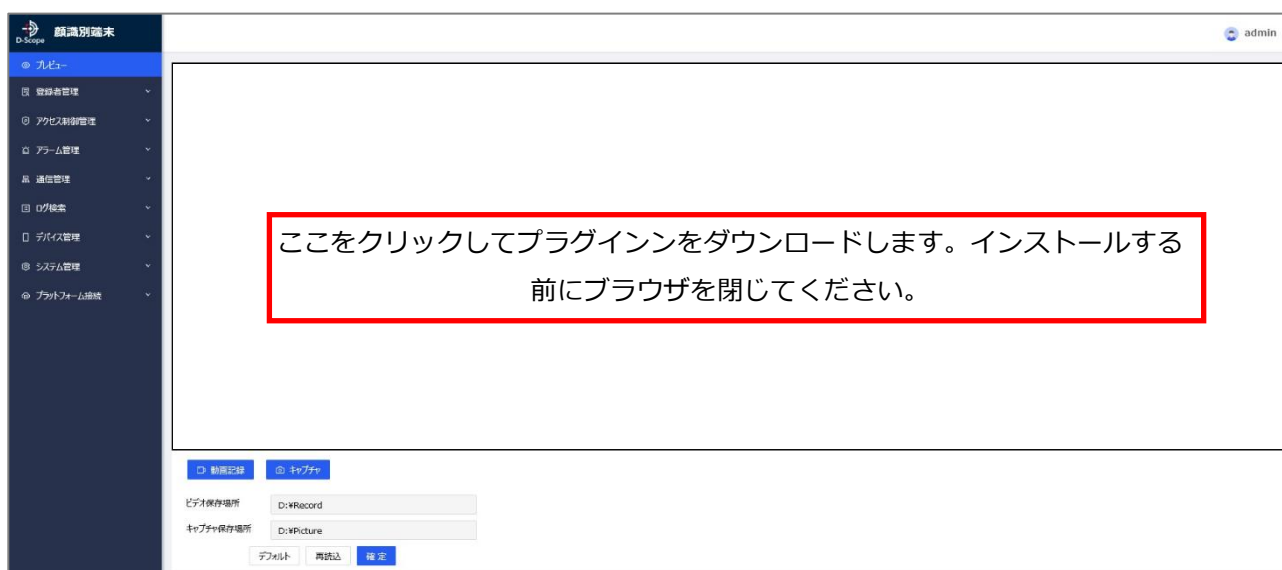
本機にログイン出来たら、左側のメニューより、デバイス管理→日付設定とクリックして、左図日付設定画面が表示されたら、「コンピューターの時刻と同期」をクリックします。

日時がズれている状態で運用されると、各種ログが正常に収集出来ませんので、運用を開始される際は必ず時刻同期を行ってください。

2.5 ActiveX プラグインのインストール

管理画面上でリアルタイム表示を行うために、ActiveX プラグインをインストールします。

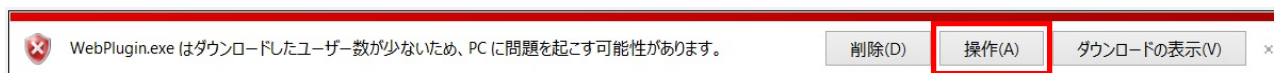
① 左側のメニューからプレビューをクリックして（実際は黒背景）文章部分をクリックします。



② 画面下部に下図が表示されたら、「実行」をクリックします。



③ 表示が下図に切り替わったら、「操作」をクリックします。

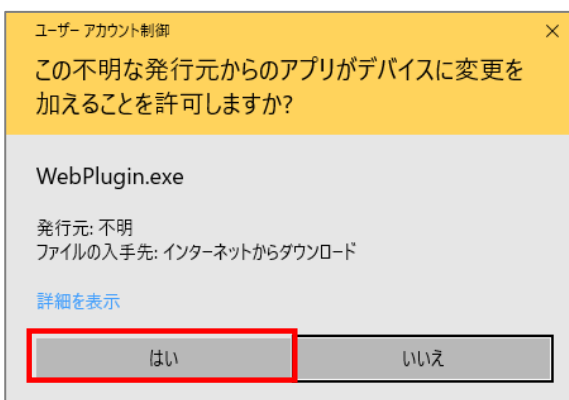




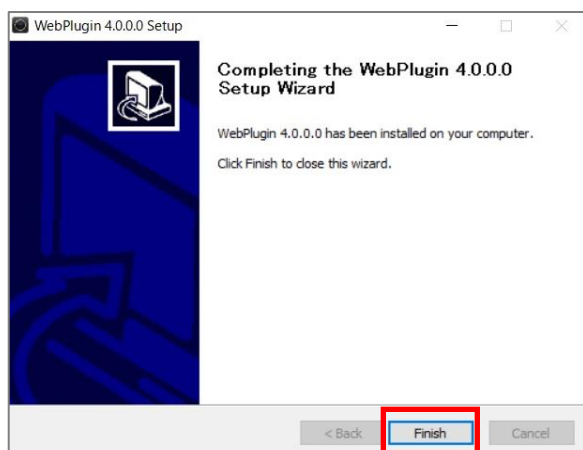
④ 左図が表示されたら、「その他オプション」をクリックします。



⑤ 「実行」をクリックします。



⑥ 「はい」をクリックします。

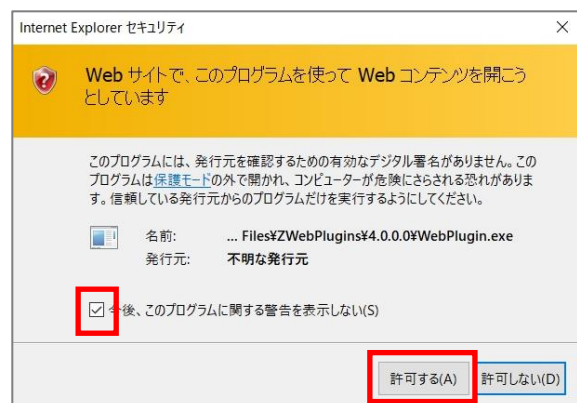
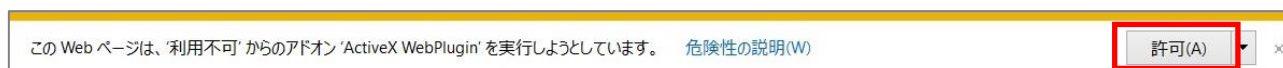


⑦ プログラムが自動的に実行され、Setup Wizard 画面が表示されたら、「Finish」をクリックし、Internet Explorer を×ボタンで終了させます。

⑧ 再度 Internet Explorer を起動して、設定画面（192.168.1.64）へアクセス、ログインし、レビュー画面にカメラからの映像が表示されたらインストール成功です。

※映像が表示出来ず、ページ下部に ActiveX の実行許可が表示されている場合は、更に以下の手順を実行してください。

⑨ 画面下部に下図が表示されたら、「許可」をクリックします。



⑩ 警告画面が表示されたら、「今後、このプログラムに関する警告を表示しない」にチェックを入れて、「許可する」をクリックします。

3. 登録者管理

登録者管理／登録者情報で、顔認証を行う方の ID、お名前、写真等の追加、削除を行います。

3.1 登録者情報画面



項目名 (アイコン)	説明
検索 ID	ID で登録者を検索する際に使用します。
検索氏名	氏名で登録者を検索する際に使用します。
追加ボタン	登録者を個別で登録する際に使用します。
一括追加ボタン	登録者情報を csv、jpg ファイルで一括追加する際に使用します。
削除ボタン	左手のチェックボックスで指定した登録者を削除する際に使用します。
エクスポート ボタン	他のデバイスに登録者情報を移管する等、本機 of 全登録者情報が記載された csv、及び写真の jpg ファイルを含む zip ファイルをダウンロードする際に使用します。
登録エラー検索 ボタン	写真から特徴点が見つからなかった登録者情報を抽出する際に使用します。登録者を一括追加した際の登録異常者を特定するのに便利です。
	情報修正ボタン 登録者の氏名、性別、生年月日、カード情報を修正する際に使用します。
	写真修正ボタン 登録者の写真を変更する際に使用します。
	詳細情報ボタン 写真を含めた登録者の全情報を確認する際に使用します。
	削除ボタン 当該行の登録者を削除する際に使用します。

3.2 登録者の追加

登録者情報画面で「追加」ボタンをクリックすると、下図の登録者情報追加画面が表示されます。

登録者情報追加

×

1.基本情報

ID:

※氏名:

性別:

選択

生年月日:

生年月日を選択してください

※タイプ:

登録者

通行情報

通行時間を追加

2.カード番号情報

カード番号:

カード有効期間:

2000-01-01 ~ 2037-12-31

カード追加

カードタイプ	カード番号	カード有効期間
データがありません		

3.顔ライブラリの写真 (jpg形式をサポートしています。画像サイズをアップロードすることをお勧めします: 幅480px高さ720px)

※写真:

ファイル選択

キャプチャ

削除

取消

保存

入力必須の氏名、タイプ、写真、その他ご利用場所で必要となる項目を入力して、「保存」をクリックすると登録出来ます。

写真はjpg形式ファイルの登録、本機を使用しての撮影（キャプチャ）いずれかで登録が可能です。

今回のアップデートより、通行に関連する機能が拡充されましたが、物理的に通行者を制御したい場合は、本機を自動ドアやセキュリティゲートと連動させる必要があります。

項目名 ※入力必須	説明
ID	社員番号等、登録者のIDが入力出来ます。 推奨文字種類：半角英数字 上限文字数：32桁（画面表示は上限19桁） ※一度登録すると変更出来ません。
※氏名	登録者の氏名を入力します。 推奨文字種類：制限なし 上限文字数：32桁
※タイプ	登録者のタイプを登録者、ゲスト、ブラックリストに分類します。 ※登録者⇔ゲストの変更は出来ません。登録者⇔ブラックリストの変更はP.27 アラームイベントで変更出来ます。
通行時間を追加	通行時間を追加 ○ 通行止め ☒ 通行する 2021/03/21 20:22:1~2021/03/22 20:22:1 登録者タイプが「登録者」の時に「通行止め」「通行する」が設定出来ます。設備のメンテナンス、設置場所でのイベント等、P.22で説明する「権限グループ」を超えて通行情報を設定したい場合に使用します。

登録者の有効期間	*タイプ: ゲスト 登録者の有効期間 2021-03-21 20:25:5~2021-03-22 20:25:5 登録者タイプが「ゲスト」の時に設定出来ます。 登録者を有効（通行出来る）状態にしておく期間を設定出来ます。期間が過ぎると本機画面上に「ゲスト時間外のため通行できません」と表示され、通行出来なくなりますが、情報修正画面で期間の変更が可能です。
カード番号	本機にカードリーダーを接続してカード認証を行う場合、もしくは QR コードを本機カメラにて読み込む場合の、カード・QR 番号を登録します。 文字種類：16 進数(0~F) 上限文字数：20 桁

■キャプチャ（本機を使用した写真の撮影）

写真の「キャプチャ」ボタンをクリックすると下図のような撮影画面が表示されます。



撮影画面が表示されたら、30 秒以内に青い枠の中へ収まるように対象者の顔を映り込ませると自動的に写真が撮影されます。

- ①映り込ませる際は枠から少しはみ出す程度に顔を映して、徐々に下がっていくと、顔が枠内に収まり撮影されます。
- ②撮影の際、瞬きをしないようにご注意ください。
- ③撮影された写真を撮り直す場合は再度「キャプチャ」ボタンをクリックして①の動作を行います。

■登録写真について

jpg 形式ファイルは登録する写真は、**顔領域のピクセルは縦 720、横 480 以上、顔の大きさは写真全体の 1/3 以上**の条件を満たし、下記例に従って撮影されたファイルのご使用を推奨します。

※要件に満たないファイルをご使用されると、正確な認証が行われない場合があります。



3.3 情報修正画面

登録者情報編集

1.基本情報

ID: 11111

氏名: テスト

性別: 男

生年月日: 1970-01-01

タイプ: 登録者

状態: 有効にする

通行情報

通行時刻を追加

2.カード番号情報

カード番号:

カード有効期間: 2000-01-01 ~ 2037-12-31

カード追加

カードタイプ	カード番号	カード有効期間	操作
データがありません			

取消 保存

①登録者の情報修正画面

氏名、性別、生年月日、状態の変更、通行情報、カード番号情報の追加・修正・削除が行えます。

状態を「有効にする」から「無効化」に変更すると登録者は無効となり、顔認証時に「未登録者」として判定されます。

登録者情報編集

1.基本情報

ID: 22222

氏名: テスト二郎

性別: 男

生年月日: 1970-01-01

タイプ: ゲスト

登録者の有効期間: 2021-03-21 21:21:0 ~ 2021-03-22 21:21:0

状態: 有効にする

2.カード番号情報

カード番号:

カード有効期間: 2000-01-01 ~ 2037-12-31

カード追加

カードタイプ	カード番号	カード有効期間	操作
データがありません			

取消 保存

②ゲストの情報修正画面

氏名、性別、生年月日、登録者の有効期間、状態の変更、カード番号情報の追加・修正・削除が行えます。

状態は登録者と同様に動作します。

登録者情報編集

1.基本情報

ID: 33333

氏名: テスト三郎

性別: 男

タイプ: ブラックリスト

取消 保存

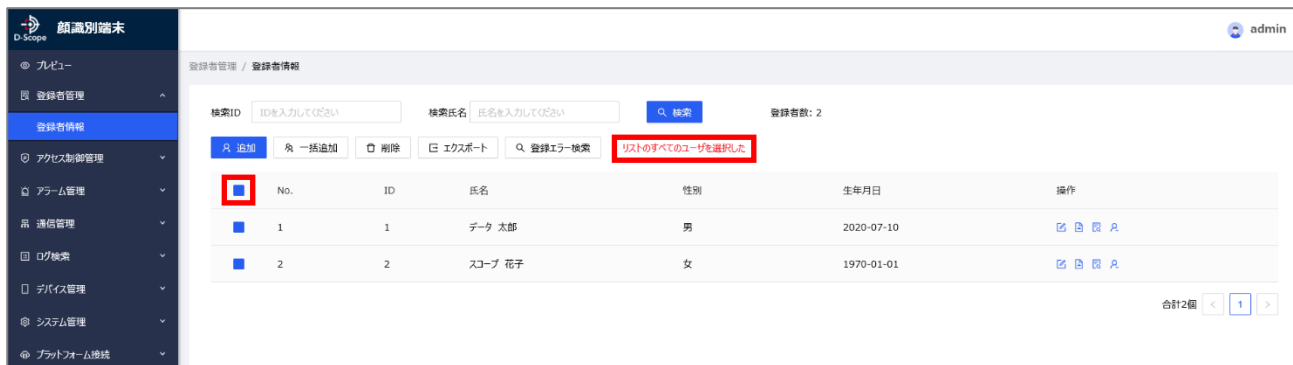
③ブラックリストの情報修正画面

氏名、性別のみ変更出来ます。

3.4 エクスポート

選択した登録者情報が記述された CSV と写真が格納された zip ファイルをエクスポートする機能です。

※全体を選択したい場合は、下図のように項目名行のチェックボックスをクリックします。全体が選択されると検索ボタン下に「リストのすべてのユーザを選択した」と表示されます。



エクスポートした zip ファイルを解凍すると、下図のように CSV、写真ファイルを格納したフォルダが展開されます。

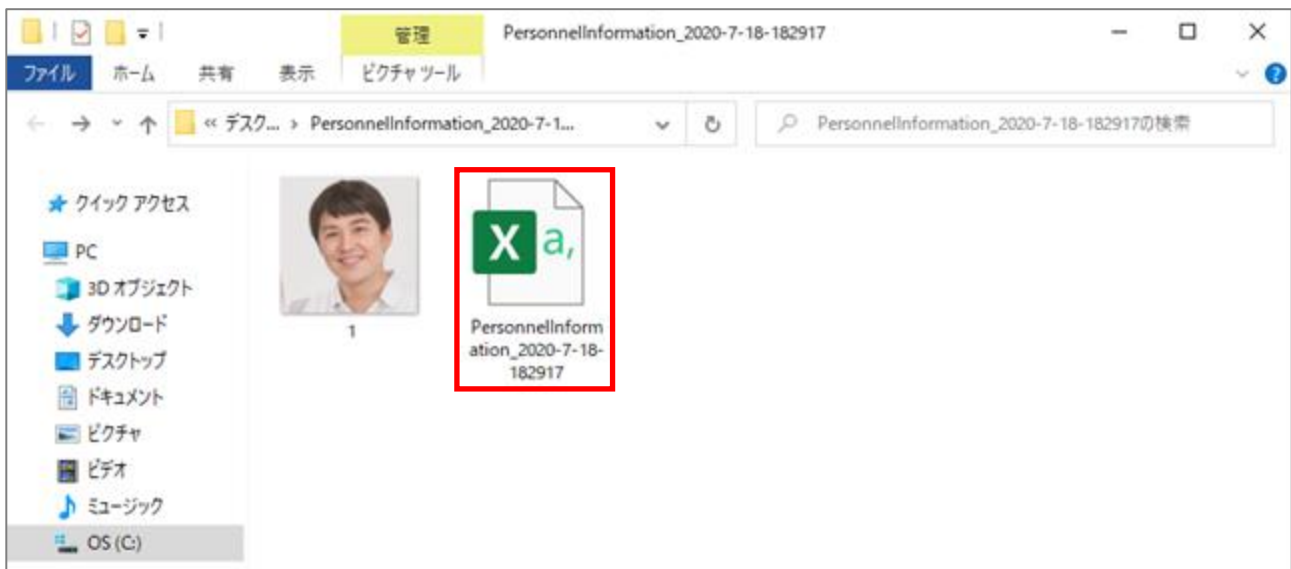


3.5 登録者の一括追加

CSV と写真ファイルを使って登録者する機能です。

①CSV ファイルの入手

3.1～3.3 の手順に従い、1 名登録者を追加し、エクスポートを行いダウンロードした zip ファイルを解凍したら、CSV ファイルをダブルクリックして開きます。



②CSV ファイルの入力

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
個人ID	IDタイプ	登録者タイプ	名前	性別	生年月日	権限グループ	カード番号	カード番号	部門	国	県	市	顔写真1	特徴値1	顔写真2	特徴値2	顔写真3	特徴値3
1	1	1	アータス mare		1970/17/1	1		2000/01/01-2037/12/31					1.jpg					
3	2	1	スコープ花子										2.jpg					
4	3	1	鈴木 一郎										3.jpg					
5	4	1	佐藤 二朗										4.jpg					
6	5	1	田島 隆司										5.jpg					
7	6	1	牧原 一平										6.jpg					
8	7	1	唐木 信之										7.jpg					
9	8	1	宮里 弘一										8.jpg					
10	9	1	堀木 潤一郎										9.jpg					
11	10	1	日笠 秀則										10.jpg					
12	11	1	小田川 志明										11.jpg					
13	12	1	潘 勝哉										12.jpg					
14	13	1	阿南 辰哉										13.jpg					
15	14	1	網川 裕一朗										14.jpg					
16	15	1	亀谷 雅広										15.jpg					
17	16	1	天尾 克浩										16.jpg					
18	17	1	宇澤 朋哉										17.jpg					
19	18	1	保手濱 典弘										18.jpg					
20	19	1	中鶴 佳男										19.jpg					
21	20	1	織井 裕晃										20.jpg					

-入力必須項目-

- ・ 個人 ID :

登録者の ID を入力します。先頭に入力した 0（ゼロ）はファイル保存時に省略されますので、ご注意ください。（例：0001 と入力しても、保存時に 1 となる）

・登録者タイプ

下記登録者タイプに応じて 1～3 の数字を入力します。

1 : 登録者 2 : ゲスト 3 : ブラックリスト

空白もしくは 1～3 以外の数字を入力された場合は 1 : 登録者として登録されます。

ゲストの登録者有効期間はデフォルト値 2000 年 1 月 1 日 0:00:00～2037 年 12 月 31 日 0:00:00 で登録されますので、必要に応じて情報修正画面より変更します。

・名前

登録者の名前を入力します。

・顔写真

登録者に対応したファイル名（拡張子.jpg を含む）を入力します。

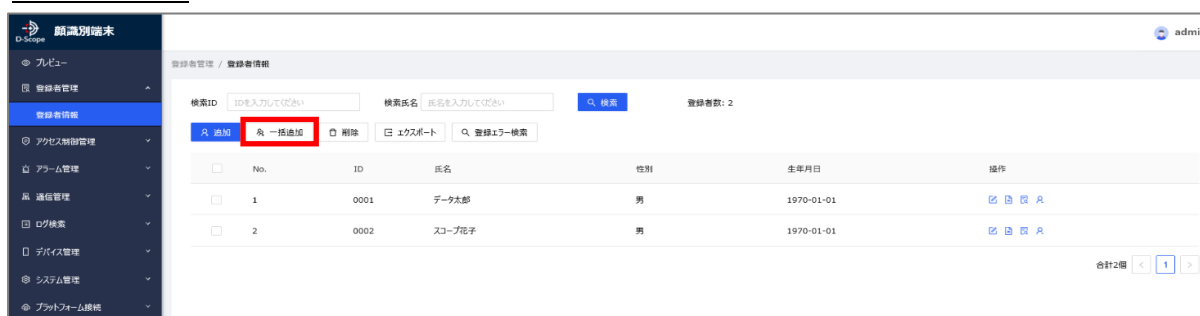
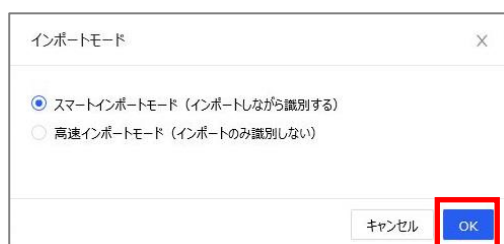
※性別、生年月日、カード番号、カード番号有効期間は必要に応じて入力します（空白の場合は自動的にデフォルト値が登録されます）。それ以外の項目は入力しても画面上では確認出来ません。

③顔写真の用意

登録者の写真（jpg ファイル）をご用意いただき、CSV ファイルと同じフォルダに保管します。

CSV と写真ファイルのご用意が出来たら、登録者の重複入力がないか、写真の存在しない登録者がいないか（登録者の人数、写真のファイル数が一致しているか）、インポート前に今一度ご確認ください。

④インポート

登録者情報画面で「一括追加」ボタンをクリックすると、左図の登録者情報追加画面が表示されます。

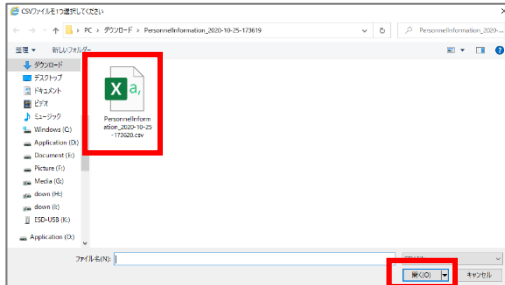
インポートモードを選択して、OK ボタンをクリックします。

スマートインポートモード

インポート中も端末での検温を行えるモードです。

高速インポートモード

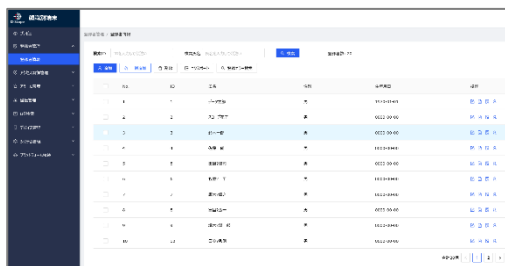
高速でインポートを行うため、インポート中は検温が行えません。



CSV ファイルを保存したフォルダから、ファイルを選択して、「開く」をクリックします。



インポートが始まります。



ID	氏名	性別	生年月日	所属	備考
1	山田 太郎	男	1990-01-01	営業部	
2	山田 花子	女	1990-01-01	営業部	
3	山田 一郎	男	1990-01-01	営業部	
4	山田 二郎	男	1990-01-01	営業部	
5	山田 三郎	男	1990-01-01	営業部	
6	山田 四郎	男	1990-01-01	営業部	
7	山田 五郎	男	1990-01-01	営業部	
8	山田 六郎	男	1990-01-01	営業部	
9	山田 七郎	男	1990-01-01	営業部	
10	山田 八郎	男	1990-01-01	営業部	

インポートが完了したら、CSV ファイルへ入力した全ての登録者が反映されているか、ご確認ください。

4. アクセス制御管理

アクセス制御管理では主に本機とドア（ゲート）の開閉を連動させる際の認証や、本機からドアへ送信する信号等の設定を行います。

4.1 アクセス制御設定画面

アクセス制御設定

アクセスタイプ:

顔認証

☐ 未登録者通行許可 ※「アクセスタイプ: 顔認証」を選択した時のみ有効

NO/NCリバース設定:

☒

ドア通常入力状態:

☒ ノーマルオープン(NO)
 ☐ ノーマルクローズ(NC)

開錠信号遅延時間:

(100~10000)ミリ秒

ドアアクション:

☐ オープン
 ☐ クローズ
 ☒ 自動

ドアステータス:

クローズ状態

開錠

デフォルト

再読み込み

確定

項目名	説明												
アクセスタイプ	以下の選択肢で設定が可能です。 ・ 顔認証 ・ カード ・ 顔認証とカード ・ 顔認証もしくはカード ・ 顔認証とカード(カード優先) ※「顔認証とカード」は顔認証とカード(もしくは QR 認証)の両方の認証が完了すれば通行許可とします。カード・顔、どちらの認証を先に行っても許容されます。 ※「顔認証もしくはカード」は、顔認証・カード認証・QR 認証のうち 1 つの認証が完了すれば通行許可とします。 ※「顔認証とカード(カード優先)」はカード(もしくは QR 認証)認証を実施後、顔認証を実施することで、通行許可します。このモードを選択した場合は、必ずカード認証から始めなければいけません。カード認証を行わずに顔をかざしても「先にカード認証をしてください」と表示されて受け付けません。 登録者情報の状態による通行許可パターンは以下の通りとなります。 <table><tr><th>登録者状態</th><th>アクセスタイプ： 顔認証とカード</th><th>アクセスタイプ： 顔認証とカード(カード優先)</th></tr><tr><td>顔情報のみ登録</td><td>顔認証可能</td><td>認証不可</td></tr><tr><td>カード情報のみ登録</td><td>カード認証可能</td><td>カード認証可能</td></tr><tr><td>顔とカード情報の両方登録</td><td>2要素認証(顔＋カード)</td><td>2要素認証(カード優先＋顔)</td></tr></table>	登録者状態	アクセスタイプ： 顔認証とカード	アクセスタイプ： 顔認証とカード(カード優先)	顔情報のみ登録	顔認証可能	認証不可	カード情報のみ登録	カード認証可能	カード認証可能	顔とカード情報の両方登録	2要素認証(顔＋カード)	2要素認証(カード優先＋顔)
登録者状態	アクセスタイプ： 顔認証とカード	アクセスタイプ： 顔認証とカード(カード優先)											
顔情報のみ登録	顔認証可能	認証不可											
カード情報のみ登録	カード認証可能	カード認証可能											
顔とカード情報の両方登録	2要素認証(顔＋カード)	2要素認証(カード優先＋顔)											

未登録者通行許可	チェックを入れると、アクセスタイプが顔認証の時に本機で「未登録者」と判定された場合でもドアを開ける（通行する）事が出来ます。 本機能は登録者管理、権限グループでの設定よりも優先されます。																												
ドア通常入力状態	本機と接続するドア制御機器の仕様に従って設定します。 ※外部ドアコントロール装置と正しく配線されている必要があります。 ※NO、NC ケーブルの接続箇所は P.4 を参照してください。																												
NO/NC リバース 設定	初期状態ではチェックが入っている状態(ON)になります。 チェック ON 時は、電源 OFF 時と電源 ON(待機時)のオープン/ショートの状態を逆に、チェック OFF 時は、電源 OFF 時と電源 ON(待機時)のオープン/ショートの状態が同一になります。ON/OFF 時の、各ケーブルおよび各状態での動作は下記の通りとなります。状況に応じて使い分けてください。 <table><tr><td>NO/NCリバース設定:OFF</td><td>電源OFF</td><td>電源ON（待機時）</td><td>電源ON（認証成功時）</td></tr><tr><td>紫ケーブル(ラベル：NC)</td><td>ショート</td><td>ショート</td><td>オープン</td></tr><tr><td>黄色ケーブル(ラベル：NO)</td><td>オープン</td><td>オープン</td><td>ショート</td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>NO/NCリバース設定:ON(デフォルト)</td><td>電源OFF</td><td>電源ON（待機時）</td><td>電源ON（認証成功時）</td></tr><tr><td>紫ケーブル(ラベル：NC)</td><td>ショート</td><td>オープン</td><td>ショート</td></tr><tr><td>黄色ケーブル(ラベル：NO)</td><td>オープン</td><td>ショート</td><td>オープン</td></tr></table>	NO/NCリバース設定:OFF	電源OFF	電源ON（待機時）	電源ON（認証成功時）	紫ケーブル(ラベル：NC)	ショート	ショート	オープン	黄色ケーブル(ラベル：NO)	オープン	オープン	ショート					NO/NCリバース設定:ON(デフォルト)	電源OFF	電源ON（待機時）	電源ON（認証成功時）	紫ケーブル(ラベル：NC)	ショート	オープン	ショート	黄色ケーブル(ラベル：NO)	オープン	ショート	オープン
NO/NCリバース設定:OFF	電源OFF	電源ON（待機時）	電源ON（認証成功時）																										
紫ケーブル(ラベル：NC)	ショート	ショート	オープン																										
黄色ケーブル(ラベル：NO)	オープン	オープン	ショート																										
NO/NCリバース設定:ON(デフォルト)	電源OFF	電源ON（待機時）	電源ON（認証成功時）																										
紫ケーブル(ラベル：NC)	ショート	オープン	ショート																										
黄色ケーブル(ラベル：NO)	オープン	ショート	オープン																										
開錠時間間隔	ドア開閉信号の印可作動時間。 デフォルトは 200mSec です。																												
ドアアクション	認証機が待機状態時のドアのロック状態を設定します。 ・オープン：通常ドアが開いた状態。 ・クローズ：通常ドアが閉じた状態。 ・自動：自動で判断します。 ※外部ドアコントロール装置と正しく配線されている必要があります。																												
ドアステータス	現在のドアの状態を示します。 ・オープン状態：現在ドアが開いている状態。 ・クローズ状態：現在ドアが閉じている状態。 ※ドア通常入力状態とドアアクションの設定関係によって判断されます。																												
開錠ボタン	ドアを開錠させます。																												
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。																												
再読込ボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。																												
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。																												

4.2 時間帯設定

現在開発中の機能で、ご使用いただけません。

4.3 権限グループ

グループごとに通行可能な日、時間帯設定を行う機能です。

権限グループを作成すると、権限グループに割当てされていない登録者は一律で通行不可になります。権限グループ作成から、登録者割当てまでの時間は全ての登録者が通行不可になりますので、利用する場合は十分ご注意ください。権限グループが正常に動作するためには本機の日時が正確に設定されている必要があります。ご使用前にP.10の時刻同期手順を実行してください。

①登録の流れ

権限グループは下記の流れで設定します。

週設定/休日設定で対象日が重複した場合は休日設定の内容が優先します。



※予め設定された週設定/休日設定を新たな権限グループで使用する場合は、新規で週設定/休日設定を行う必要はありません。

②週設定



項目名	説明
週設定インデックス	権限グループで週設定を適用する際のプルダウンメニューの何番目に表示させるかを選択します。
有効	チェックを入れると、対象の週設定が有効になります。
週設定名称	権限グループのプルダウンメニューでの表示名を入力します。
確定ボタン	クリックすると設定した週設定を確定させます。

曜日の「設定」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。



項目名	説明
時間帯	左側のチェックを入れて登録者を通行させたい時間帯を設定します。時間帯は同じ曜日で最大 24 個まで設定出来ます。
現在の構成を次の場所にコピー	曜日にチェックを入れると、設定した通行させたい時間帯をチェックした曜日にコピー出来ます。
確定ボタン	クリックすると設定した曜日の設定を確定させます。

全ての曜日の設定が完了したら、週設定画面での「確定」ボタンを忘れずにクリックしてください。

③休日設定

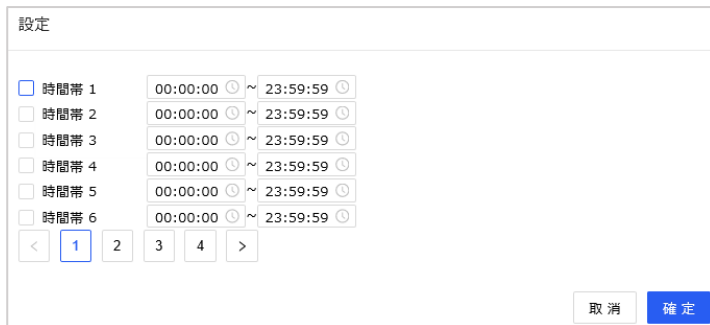


項目名	説明
休日設定インデックス	権限グループで週設定を適用する際のプルダウンメニューの何番目に表示させるかを選択します。
有効	チェックを入れると、対象の休日設定が有効になります。
休日設定名称	権限グループのプルダウンメニューでの表示名を入力します。
休日 No	休日設定インデックス内の何番目の休日にするかを選択します。同一インデックス内に最大 32 個の休日が設定出来ます。
休日名称	休日 No に対応した名称を入力します。
設定タイプ	日付設定で固定されています。

繰り返し設定	今回のみ、毎年実行を選択します。 毎年実行を選択すると終了時間に関わらず、設定した日が毎年休日として動作します。
開始時間	設定する休日の開始日を入力します。
終了時間	設定する休日の終了日を入力します。 ※特定の1日を休日設定する場合は開始、終了日を同じ年月日にします。
確定ボタン	クリックすると設定した休日設定を確定させます。

時間帯の「設定」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

設定方法は週設定の時間帯設定と同様です。



時間帯設定が完了したら、休日設定画面での「確定」ボタンを忘れずにクリックしてください。

④権限グループ



項目名	説明
検索	現在ご利用いただけません。
+ 追加	権限グループを追加する時にクリックします。
削除	チェックを入れた権限グループを削除します。

「+ 追加」 ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

追加
×

* 権限グループ名:

週設定: Default1 ▼

休日設定: Default1 ▼

取消

保存

項目名	説明
権限グループ名	権限グループの名称を入力します。
週設定	権限グループに適用する週設定を選択します。
休日設定	権限グループに適用する休日設定を選択します。
保存	クリックすると追加する権限グループが保存されます。

一つの権限グループに複数の週設定、休日設定を適用することは出来ません。
異なる権限グループで対象日の動作が異なる場合は、No.の若い権限グループが優先します。

⑤権限グループ割り当て

アクセス制御管理 / 権限グループ

権限グループ割り当て

権限グループ

週設定

休日設定

権限グループ名 test ▼

登録者検索

登録者割り当て

登録者割り当て解除

☐	No.	ID	氏名	操作
☐	1	11111	テスト	

合計1個
<
1
>

項目名	説明
権限グループ名	登録者を割り当てる／割り当て解除する権限グループ名を選択します。
登録者割り当て	クリックすると登録者割り当て画面を表示させます。
登録者割り当て解除	チェックを入れた登録者を権限グループから割り当て解除します。

「登録者割り当て」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

アクセス制御管理 / 権限グループ

権限グループ割り当て 権限グループ 週設定 休日設定

番号 氏名

☐	No.	番号	氏名	性別	生年月日	操作
☐	1	11111	テスト	男	1970-01-01	✎

合計1個 < 1 >

項目名	説明
検索	番号（ID）、氏名を入力して登録者を検索出来ます。
登録者割り当て	チェックを入れた登録者を権限グループに割り当てます。

チェックは複数の登録者に入れる事が出来ます。また、登録者が複数ページにわたる場合も他ページで入れたチェックは保持されます。

⑥権限グループの優先順位

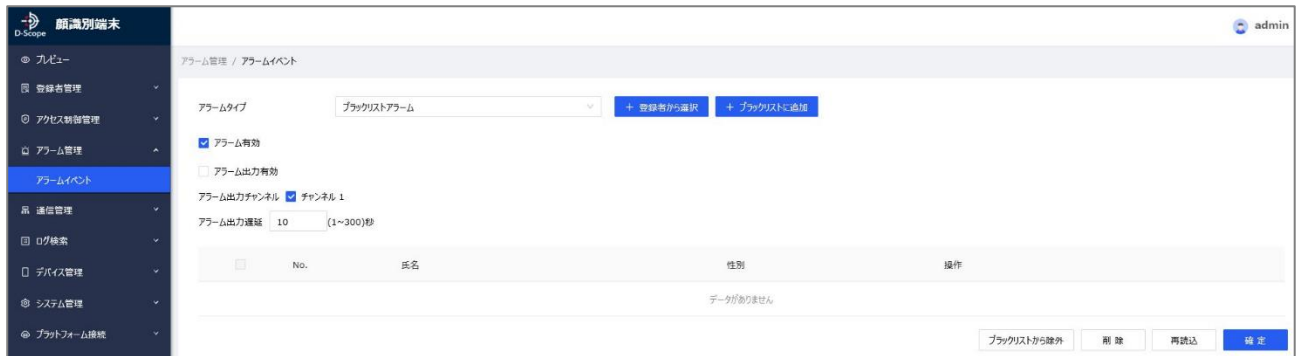
対象日の設定内容が異なる場合は下記優先順に沿って、権限グループが動作します。



5. アラーム管理

5.1 アラームイベント（ブラックリストアラーム）

本機能はブラックリスト登録した方が本機で顔認証した際のアラームトリガーを設定する機能ですが、現在開発中のため、ブラックリストへの登録、登録解除の機能のみ利用いただけます。

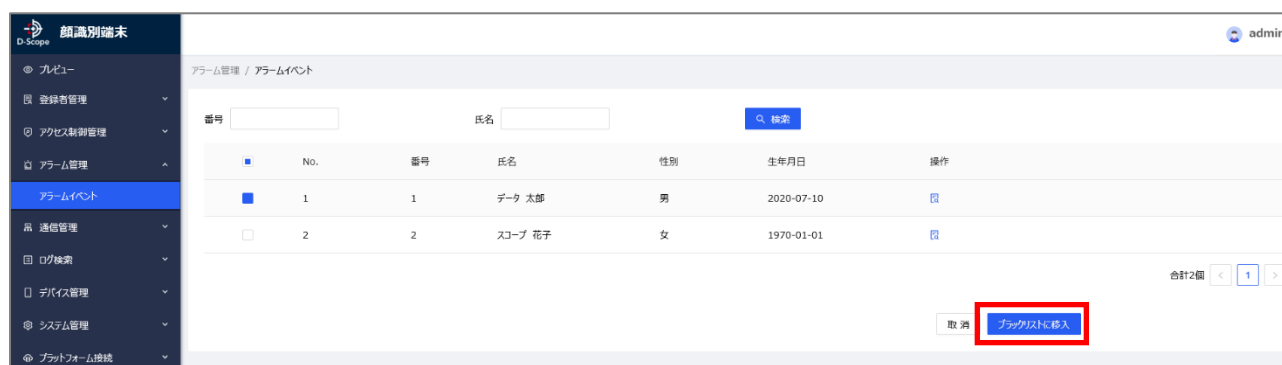


項目名	説明
アラームタイプ	ブラックリスト、ドア開放を選択します。
+登録者から選択ボタン	登録者情報からブラックリストに加えるユーザを選択して追加します。
+ブラックリストに追加ボタン	ブラックリストに追加する人物を手動追加します。
ブラックリストから除外ボタン	選択したブラックリスト登録者を除外し、登録者情報に情報を残します（一般登録者とします）。
削除ボタン	選択したブラックリスト登録者を除外し、登録者情報も削除します。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定を確定し、変更が反映されます。

ブラックリスト登録者が本機で顔認証を行うと、マスク有無情報のみ画面に表示されます。登録者、未登録者の情報は表示されません。

① 登録者から選択

ブラックリストアラーム画面で「+登録者から選択」ボタンをクリックし、下図画面を表示させ、左側のチェックボックスをクリックし、「ブラックリストに移入」ボタンをクリックします。



No.	番号	氏名	性別	生年月日	操作
1	1	データ 太郎	男	2020-07-10	☒
2	2	スコープ 花子	女	1970-01-01	☐

合計2個

取消 **ブラックリストに移入**

② ブラックリストに追加（手動追加）



ブラックリストに追加

1. 基本情報

ID:

* 氏名:

性別:

2. 顔ライブラリの写真 (jpg形式をサポートしています。画像サイズをアップロードすることをお勧めします: 幅 480px 高さ 720px)

* 写真:

ファイル選択

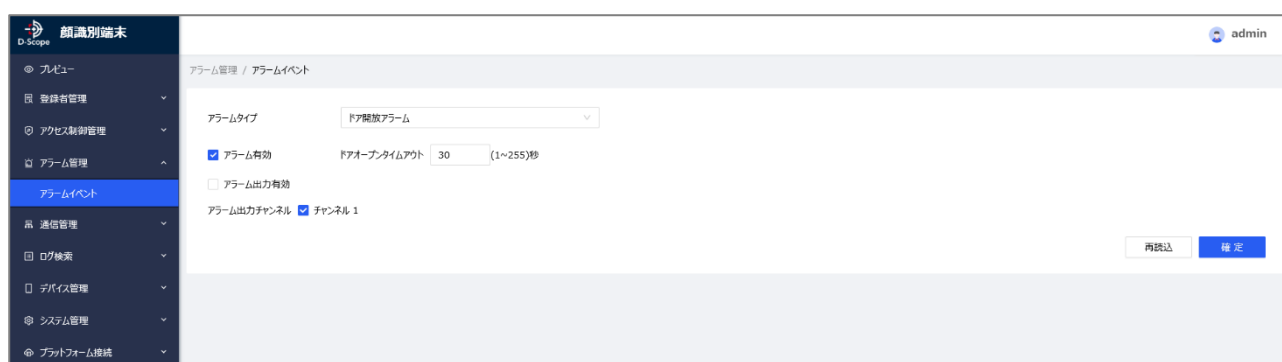
削除

取消 **保存**

ブラックリストアラーム画面で「+ブラックリストに追加」ボタンをクリックし、左図画面を表示させます。氏名を入力し、写真を登録し、「保存」ボタンをクリックします。

5.2 アラームイベント（ドア開放タイムアウトアラーム）

現在開発中のためご利用いただけません。



アラーム管理 / アラームイベント

アラームタイプ: ドア開放アラーム

☒ アラーム有効: ドアオープンタイムアウト 30 (1~255)秒

☐ アラーム出力有効

アラーム出力チャンネル: ☒ チャンネル 1

再読み込み 確定

6. 通信設定

6.1 ネットワーク設定 (TCP/IP)

 顔識別端末
 ② プレビュー
 ④ 登録者管理
 ④ アクセス制御管理
 ④ アラーム管理
 ④ 通信管理
 ネットワーク設定
 周辺機器設定
 ネットワークストレージ
 ④ ログ検索
 ④ デバイス管理
 ④ システム管理
 ④ プラットフォーム接続

通信管理 / ネットワーク設定
 TCP/IP ポート
 LANカード: eth0
 デフォルトLANカードに設定する: ☒
 プロトコルバージョン: IPV4
 MACアドレス: 2c:28:b7:01:2c:ee
 モード: ☒ 静的IP ☐ DHCP
 IPアドレス: 192.168.1.64
 IPv4サブネットマスク: 255.255.255.0
 IPv4デフォルトGW: 192.168.1.1
 優先DNSサーバ: 114.114.114.114
 代替DNSサーバ: 8.8.8.8
 再読み込み 確定

ネットワークテスト
 IP /ドメイン名 114.114.114.114 ネットワークテスト

項目名	説明
LAN カード	eth0 のみ設定可能です。
デフォルトの LAN カードに設定する	変更出来ない項目です。
プロトコルバージョン	IPV4、または IPV6 を選択出来ます。 ※これ以降の項目は「IPV4」選択時の設定項目です。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されています。
モード	IP アドレスの運用モードを設定します。
IP アドレス	本機の IPv4 アドレスを設定します。 ※DHCP を選択した場合は、設定不可となります。
IPv4 サブネットマスク	本機の IPv4 サブネットマスクを設定します。 ※DHCP を選択した場合は設定不可となります。
IPv4 デフォルト GW	本機の IPv4 デフォルトゲートウェイを設定します。

	※DHCP を選択した場合は設定不可となります。
優先 DNS サーバ	本機の優先 DNS サーバを設定します。 ※利用しない場合、114.114.114.114（未使用アドレス）を設定してください。
代替 DNS サーバ	本機の代替 DNS サーバを設定します。 ※利用しない場合、8.8.8.8（未使用アドレス）を設定してください。
再読込ボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

6.2 ネットワーク設定（ポート）

ネットワークの各ポート番号を指定する画面です。



通信管理 / ネットワーク設定

TCP/IP **ポート**

HTTPポート: (1025~65535または80)

RTSPポート: (1025~65535または554)

サーバポート: (1025~65535または27778)

デフォルト 再読込 **確定**

6.3 周辺機器設定（シリアル設定）

 顔識別端末

- プレビュー
- 登録者管理
- アクセス制御管理
- アラーム管理
- 通信管理
- ネットワーク設定
- 周辺機器設定**
- ネットワークストレージ
- ログ検索
- デバイス管理
- システム管理
- プラットフォーム接続

通信管理 / 周辺機器設定

シリアル設定

Weigand設定

アラーム入力設定

シリアルポート:

シリアルポート2 (RS232)

シリアルポートの有効:

☒

ボーレート:

115200

データビット:

8

チェックモード:

なし

ストップビット:

1

プロトコル:

トランスペアレントシリアルポート

トランスペアレントシリアル

データ受送信

ポート機能:

デフォルト

再読み込み

確定

情報受信

開く

クリア

No.	時刻	内容
データがありません		

情報送信

送信

現在開発中の機能で、ご使用いただけません。

6.4 周辺機器設定（Wiegand 設定）

① レベルコントロールモード

ブザー、パトライトなどを本機に接続する際に使用するモードです。



項目名	説明
Wiegand モード	以下の選択肢で設定が可能です ・ Wiegand 出力モード ・ Wiegand 入力モード ・ レベルコントロールモード ※（以下はレベルコントロールモードを選択時の設定詳細です）
PIN	以下の選択肢で設定が可能です。 ・ PIN1（Wiegand ポート青色：WG D0 に対応） ・ PIN2（Wiegand ポート白青：WG D1 に対応）
トリガータイプ	以下の選択肢で設定が可能です。 ・ 温度異常 ・ 温度正常 ・ 認証失敗 ・ 認証成功 ・ ブラックリスト ・ マスクなし ・ マスクあり ・ 判定 O K ・ 判定 N G
トリガーメソッド	以下の選択肢で設定が可能です。 ・ トリガーされたらハイレベルに変更 ・ トリガーされたらローレベルに変更
トリガー期間	100～60000 ミリ秒で設定可能、デフォルトは 1500 です。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

②Wiegand 入力モード

カードリーダーを本機に接続する際に使用するモードです。



項目名	説明
Wiegand モード	以下の選択肢で設定が可能です。 ・ Wiegand 出力モード ・ Wiegand 入力モード ・ レベルコントロールモード ※（以下は Wiegand 入力モードを選択時の詳細設定です）
Wiegand タイプ	以下の選択肢で設定が可能です。接続されるカードリーダー、カードの種類により正しいものをご選択ください。 ・ Wiegand26 ※主に Mifare カードで使用 ・ Wiegand34 ※主に Mifare カードで使用 ・ Wiegand64 ※主に FeliCa カードで使用

複数の Wiegand モードを同時に使うこと（ブザー・パトライトとカードリーダーの同時利用）は出来ません。

③Wiegand 出力モード

本機より接続機器に Wiegand 通信経由で「登録者 ID」もしくは「登録者のカード番号」を転送する際に、使用するモードです。



項目名	説明
Wiegand モード	以下の選択肢で設定が可能です。 • Wiegand 出力モード • Wiegand 入力モード • レベルコントロールモード ※（以下は Wiegand 出力モードを選択時の詳細設定です）
Wiegand タイプ	以下の選択肢で設定が可能です。 • Wiegand 26 • Wiegand 34 • Wiegand 64 ※データを受信する接続機器も同じ Wiegand タイプに設定必要
データタイプ	Wiegand タイプを「Wiegand 出力モード」に設定時、以下の選択肢で設定が可能です。 • カード番号 ※Wiegand で登録者の「カード番号」を出力 • 登録者 ID ※Wiegand で登録者の「登録者 ID」を出力 ※データ出力動作のトリガーは「認証成功」になります。

※Wiegand 出力モードの動作に関して：

・データタイプを「カード番号」に設定時：

認証成功時に、本機により登録者情報（認証成功者情報）にある「カード番号」データを「Wiegand タイプ」にて選択したフォーマットで出力します。

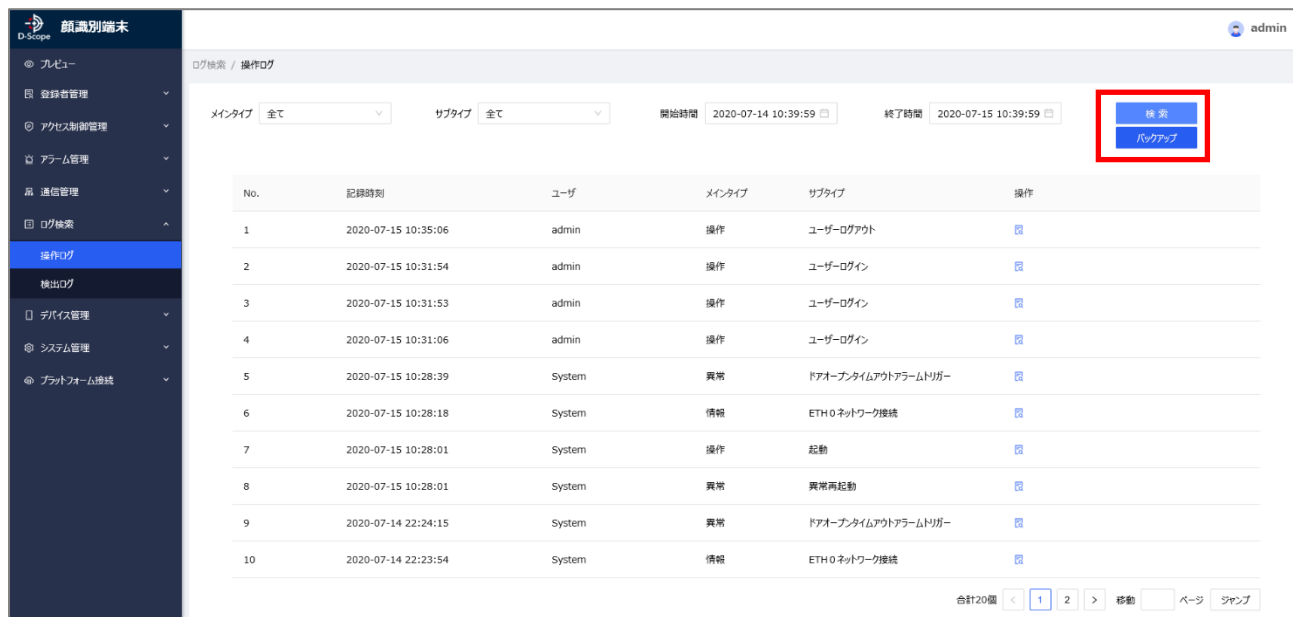
・データタイプを「登録者 ID」に設定時：

認証成功時に、本機により登録者情報（認証成功者情報）にある「ID」データを「Wiegand タイプ」にて選択したフォーマットで出力します。

7. ログ検索

7.1 操作ログ

画面右上の「検索」ボタンをクリックすると、本機の動作（起動、ネットワーク接続、設定変更、ログイン等）に関するログが確認出来ます。「バックアップ」ボタンをクリックすると、CSV 形式でログを保存出来ます。



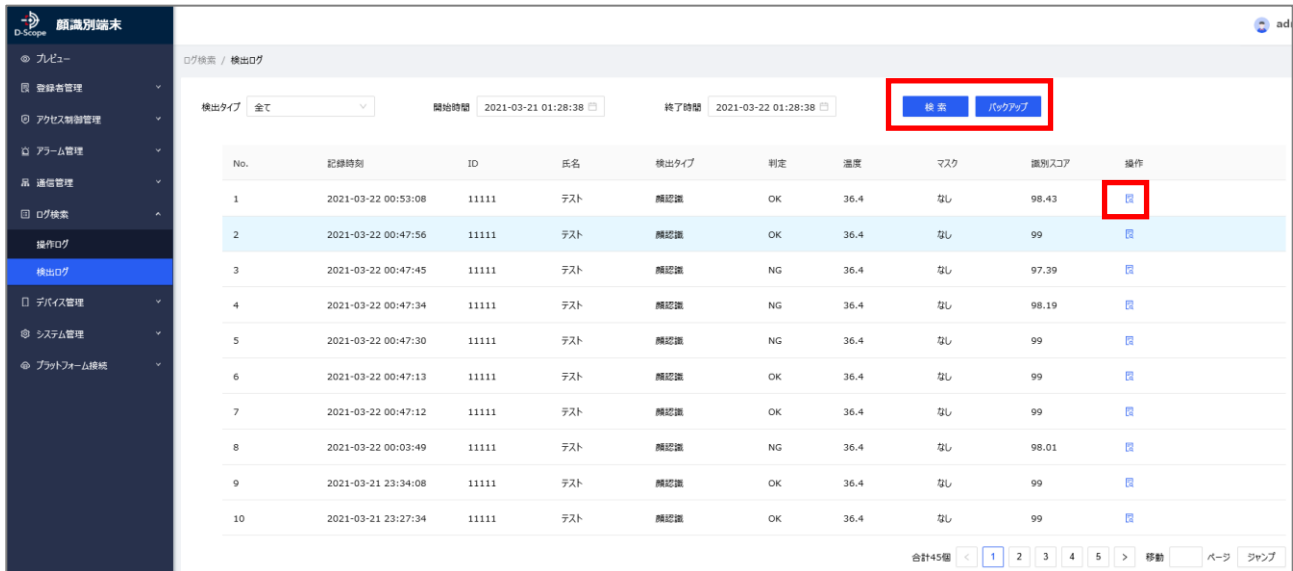
No.	記録時刻	ユーザ	メインタイプ	サブタイプ	操作
1	2020-07-15 10:35:06	admin	操作	ユーザーログアウト	詳細
2	2020-07-15 10:31:54	admin	操作	ユーザーログイン	詳細
3	2020-07-15 10:31:53	admin	操作	ユーザーログイン	詳細
4	2020-07-15 10:31:06	admin	操作	ユーザーログイン	詳細
5	2020-07-15 10:28:39	System	異常	ドアオープンタイムアウトアラームトリガー	詳細
6	2020-07-15 10:28:18	System	情報	ETH0ネットワーク接続	詳細
7	2020-07-15 10:28:01	System	操作	起動	詳細
8	2020-07-15 10:28:01	System	異常	異常再起動	詳細
9	2020-07-14 22:24:15	System	異常	ドアオープンタイムアウトアラームトリガー	詳細
10	2020-07-14 22:23:54	System	情報	ETH0ネットワーク接続	詳細

操作ログ CSV ファイル例

シリアル番号	記録時間	ユーザ名	メジャー・マイナータイプ	詳細情報
1	2020/7/18 16:28	System	異常	再起動の理由:異常終了 発生時間:2020-07-18 16:27:32
2	2020/7/18 15:41	admin	操作	時間同期 イベント名:同期時間 リモートIP:192.168.1.2 発生時間:2020-07-18 15:41:58
3	2020/7/18 15:41	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
4	2020/7/18 15:26	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
5	2020/7/18 14:13	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:Web リモートIP:192.168.1.2
6	2020/7/18 14:12	admin	操作	時間同期 イベント名:同期時間 リモートIP:192.168.1.2 発生時間:2020-07-18 14:12:53
7	2020/7/18 14:12	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
8	2020/7/18 14:09	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
9	2020/7/18 13:55	admin	操作	時間同期 イベント名:同期時間 リモートIP:192.168.1.2 発生時間:2020-07-18 13:55:11
10	2020/7/18 13:55	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
11	2020/7/18 13:54	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
12	2020/7/18 13:52	admin	操作	時間同期 イベント名:同期時間 リモートIP:192.168.1.2 発生時間:2020-07-18 13:52:47
13	2020/7/18 13:52	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
14	2020/7/18 13:50	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:Web リモートIP:192.168.1.2
15	2020/7/18 13:48	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
16	2020/7/18 13:48	admin	操作	ユーザーログアウト クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
17	2020/7/18 13:47	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:Web リモートIP:192.168.1.2
18	2020/7/18 13:47	admin	操作	設定保存 イベント名:ネットワーク設定 リモートIP:192.168.1.2 発生時間:2020-07-18 13:47:02
19	2020/7/18 13:46	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2
20	2020/7/18 13:46	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:Web リモートIP:192.168.1.2
21	2020/7/18 13:46	admin	操作	ユーザーログイン クライアントタイプ:SDK リモートIP:192.168.1.2

7.2 検出ログ

画面右上の「検索」ボタンをクリックすると、本機の検出（本機で実施した顔認証）に関するログが確認出来ます。「バックアップ」ボタンをクリックすると、CSV 形式でログを保存出来ます。操作のアイコンをクリックすると計測・認証時の写真が表示されます。



No.	記録時刻	ID	氏名	検出タイプ	判定	温度	マスク	類似スコア	操作
1	2021-03-22 00:53:08	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	98.43	
2	2021-03-22 00:47:56	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	99	
3	2021-03-22 00:47:45	11111	テスト	顔認識	NG	36.4	なし	97.39	
4	2021-03-22 00:47:34	11111	テスト	顔認識	NG	36.4	なし	98.19	
5	2021-03-22 00:47:30	11111	テスト	顔認識	NG	36.4	なし	99	
6	2021-03-22 00:47:13	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	99	
7	2021-03-22 00:47:12	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	99	
8	2021-03-22 00:03:49	11111	テスト	顔認識	NG	36.4	なし	98.01	
9	2021-03-21 23:34:08	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	99	
10	2021-03-21 23:27:34	11111	テスト	顔認識	OK	36.4	なし	99	

検出ログ CSV ファイル例

No.	記録時刻	ID	氏名	判定	温度	マスク	類似性	詳細情報		
1	2021/3/22 0:53	11111	テスト	OK	36.4	なし	98.43	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
2	2021/3/22 0:47	11111	テスト	OK	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
3	2021/3/22 0:47	11111	テスト	NG	36.4	なし	97.39	検出タイプ:顔認識	詳細結果:時間外の	
4	2021/3/22 0:47	11111	テスト	NG	36.4	なし	98.19	検出タイプ:顔認識	詳細結果:時間外の	
5	2021/3/22 0:47	11111	テスト	NG	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:時間外の	
6	2021/3/22 0:47	11111	テスト	OK	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
7	2021/3/22 0:47	11111	テスト	OK	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
8	2021/3/22 0:03	11111	テスト	NG	36.4	なし	98.01	検出タイプ:顔認識	詳細結果:時間外の	
9	2021/3/21 23:34	11111	テスト	OK	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
10	2021/3/21 23:27	11111	テスト	OK	36.4	なし	99	検出タイプ:顔認識	詳細結果:通行許可	
11	2021/3/21 23:27	11111	テスト	NG	36.4	なし	98.4	検出タイプ:顔認識	詳細結果:時間外の	

今回のアップデートより識別スコア（類似性）が検出ログに表示されます。

※識別スコアとは、認証時の登録画像とのマッチ率を表します。「識別設定」で設定されている「認識比較閾値/マスク検出時の認識比較閾値(デフォルト:80)」を超えると、「登録者」として判定、下回ると「未登録者」として判定されます。

検出ログでバックアップ出来るのは上記 CSV 記載の情報のみ、画像はバックアップされません。工場出荷設定に戻すことでログファイルは消去されます。

8. デバイス管理

8.1 高機能設定（情報表示のカスタム）

デバイス管理 / 高機能設定

情報表示のカスタム 通知表示設定 識別設定 マスク検出 QRコード設定

シーン1：デバイスの前に人がいる場合(右図シーン1)

情報1：時刻表示, 例：09:45:30

情報2：カスタム表示：例えば、会社名など

情報3：会社のロゴをアップロードしてください。アスペクト比は1:1形式はpngです。

 デフォルト 確定

シーン2：デバイスが顔認識を行った場合(右図シーン2)

情報1：氏名 ☒ 表示 ☐ 非表示

情報2：ID ☒ 表示 ☐ 非表示

情報3：写真 ☒ 表示 ☐ 非表示

パネル表示情報

情報1：IPアドレス ☒ 表示 ☐ 非表示

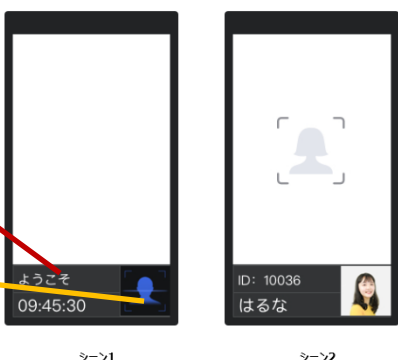
情報2：S/N ☒ 表示 ☐ 非表示

情報3：Ver. ☒ 表示 ☐ 非表示

情報4：登録者数 ☒ 表示 ☐ 非表示

情報5：オフライン人数 ☒ 表示 ☐ 非表示

デフォルト 再読み込み 確定



以下本機画面の情報表示について、表示／非表示が設定出来ます。

①シーン 1

情報 1：時刻表示 ※表示／非表示は選択出来ません。

情報 2：時刻表示の下に表示される文字表示をカスタマイズ出来ます。

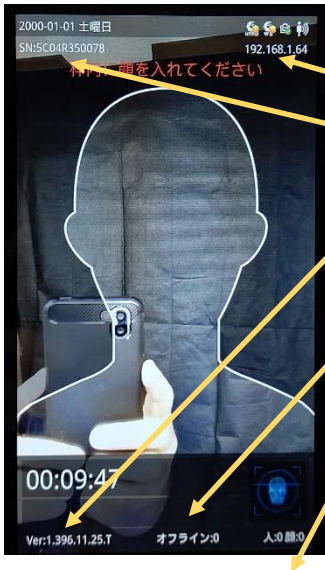
情報 3：本機画面右下に表示される画像をカスタマイズ出来ます。

②シーン 2

情報 1：登録者が顔を撮影した際、氏名の表示／非表示を選択出来ます。

情報 2：登録者が顔を撮影した際、ID の表示／非表示を選択出来ます。

情報 3：登録者が顔を撮影した際、写真の表示／非表示を選択出来ます。



③パネル表示情報

情報 1 : IP アドレスの表示／非表示を選択出来ます。

情報 2 : S/N (製品シリアルナンバー) の表示／非表示を選択出来ます。

情報 3 : Ver. (ファームウェアバージョン) の表示／非表示を選択出来ます。

情報 4 : オフライン (WebSocket、HTTP リバースにおける Push 通知の送信待ち件数) の表示／非表示を選択出来ます。

情報 5 : 登録者数 (認証登録されている人数) の表示／非表示を選択出来ます。

※日付、時刻は非表示に出来ません。

画面アイコン表示について



① ② ③

アイコン	説明
①HTTP リバース	HTTP リバースの通信状態を示します。 ！：何らかの原因で通信を行っていない状態 ✓：通信を行っている状態 ※HTTP リバースの設定をしていない場合は表示されません。 
②WebSocket	WebSocket の通信状態を示します。 ！：何らかの原因で通信を行っていない状態 ✓：通信を行っている状態 ※WebSocket の設定をしていない場合は表示されません。 
③LAN 接続状態	LAN の通信状態を示します。 ！：何らかの原因で通信を行っていない (ケーブルが挿されていない) 状態 ✓：通信を行っている状態 ※LAN がインターネットに接続されている場合は右図の表示になります。 

8.2 高機能設定（通知表示設定(顔認証)）

情報表示のカスタム
通知表示設定(顔認証)
通知表示設定(カード)
識別設定
マスク検出
QRコード設定

通知文字(右図参照)

1.認証成功時

☒ 認証成功時の通知表示する

☒ 登録者（デフォルト）

☐ 認証成功

☐ カード認証成功

☐ 通行許可

☐ カスタム文字列表示

テキスト背景 ☒ 青色 ☐ 赤色

色: ☐ 緑色

2.認証失敗時

☒ 認証失敗時に通知表示する

☒ 未登録者

☐ カスタム文字列表示

テキスト背景 ☒ 青色 ☐ 赤色

色: ☐ 緑色

音声通知： 認証成功時の音声再生

1.認証成功時

☒ 認証成功時の音声通知する

☒ 登録者

2.認証失敗時

☒ 認証失敗時に音声通知する

☒ 未登録者



本機で顔認証を行った際の表示内容、テキスト背景色、音声通知の有／無を設定出来ます。

項目名	説明
通知文字	ラジオボタンによる選択肢、カスタム文字列、テキスト背景色を設定出来ます。
音声通知	音声通知の有／無のみ設定出来ます。 ※音声内容のカスタマイズは出来ません。

8.3 高機能設定（通知表示設定(カード)）

情報表示のカスタム

通知表示設定(顔認証)

通知表示設定(カード)

識別設定

マスク検出

QRコード設定

通知文字(右図参照)

1.認証成功時

☒ 認証成功時の通知表示する

登録者 (デフォルト)

認証成功

カード認証成功

通行許可

カスタム文字列表示

カスタム文字列を入力して下さい

テキスト背景

青色

赤色

色:

緑色

2.認証失敗時

☒ 認証失敗時に通知表示する

未登録者

カスタム文字列表示

カスタム文字列を入力して下さい

テキスト背景

青色

赤色

色:

緑色

デフォルト

再読み込み

確定

音声通知：認証成功時の音声再生

1.認証成功時

☒ 認証成功時の音声通知する

登録者

2.認証失敗時

☒ 認証失敗時に音声通知する

未登録者



本機でカード認証を行った際の表示内容、テキスト背景色、音声通知の有／無を設定出来ます。

項目名	説明
通知文字	ラジオボタンによる選択肢、カスタム文字列、テキスト背景色を設定出来ます。
音声通知	音声通知の有／無のみ設定出来ます。 ※音声内容のカスタマイズは出来ません。

44

© 2022 DataScope inc.

8.4 高機能設定（識別設定）

デバイス管理 / 高機能設定

情報表示のカスタム
通知表示設定
識別設定
マスク検出
温度検出
QRコード設定

識別距離:
☐ 0.5m
☒ 1m
☐ 1.5m
☐ 2m

識別レベル:
☐ 写真/ビデオの偽装を判別しない
☐ 写真/ビデオの偽装を部分的に判別する
☒ 写真/ビデオの偽装を正確に判別する

識別間隔:
 秒

認識比較閾値:

マスク検出時の認識比較閾値:

顔写真登録時の警告類似度:

デフォルト

再読み込み

確定

顔認証を行う際の距離や精度等の設定出来ます。

項目名	説明
識別距離	顔認識距離を下記のいずれかで設定出来ます。 0.5m、1m、1.5m、2m
識別レベル	写真やビデオでの偽装認証の判別レベルを設定出来ます。
識別間隔	顔識別間隔を設定出来ます。
認識比較閾値	登録されている写真と、本機で顔認識した際の比較閾値を設定します。 ※デフォルトは 80 です。
マスク検出時の認識比較閾値	マスクを検出した際の登録されている写真と、本機で顔認識した際の比較閾値を設定します。 ※デフォルトは 80 です。
顔写真登録時の警告類似度	顔写真登録時の類似度閾値を 0~100 で設定します。 ※設定値 0 の場合、無効となります。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	設定を保存しないで、現在の設定状態を表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

8.5 高機能設定（マスク検出）

マスク検出時の本機の動作について設定出来ます。


顔識別端末

- ④ プレビュー
- 👤 登録者管理
- 🔒 アクセス制御管理
- 🔔 アラーム管理
- 📡 通信管理
- 🔍 ログ検索
- 📱 デバイス管理
- 高機能設定**
- 画像設定
- 日付設定
- 基本設定
- ⚙️ システム管理
- 🔌 プラットフォーム接続

デバイス管理 / 高機能設定

情報表示のカスタム

通知表示設定

識別設定

マスク検出

QRコード設定

マスク検出の基本設定

☒ マスク判定のみ
 ☐ マスクのない人をシールドする
 ☐ マスクのある人をシールドする

マスク検出モード:
 ☒ 口のみ覆うも許可する
 ☐ 鼻と口の両方を覆う

マスク検出通知の設定

マスクあり時に通知表示する: ☒

内容:

テキスト背景色: ☒ 青色 ☐ 緑色 ☐ 赤色

マスクあり時に音声で通知する: ☒

内容:

マスクなし時に通知表示する: ☒

内容:

テキスト背景色: ☐ 青色 ☐ 緑色 ☒ 赤色

マスクなし時に音声で通知する: ☒

内容:

デフォルト

再読み込み

確定

項目名	説明
マスク検出の基本設定	マスク検出した際のドア制御の有／無、ドアを閉める（シールドする）対象者を設定します。
マスク検出モード	マスク着用を判定するレベルを選択できます。   口のみ覆うも許可する 鼻と口の両方を覆う
マスク検出通知の設定	マスクを検出した際の画面通知の有／無、テキスト内容、テキスト背景色、音声通知の有／無について設定出来ます。 ※音声内容のカスタマイズは出来ません。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

46

© 2022 DataScope inc.

8.6 高機能設定（QRコード設定）

QRコードを本機のカメラにて認証する機能です。

QRコード番号の登録は「3.2 登録者の追加」のカード番号の登録を参照ください。



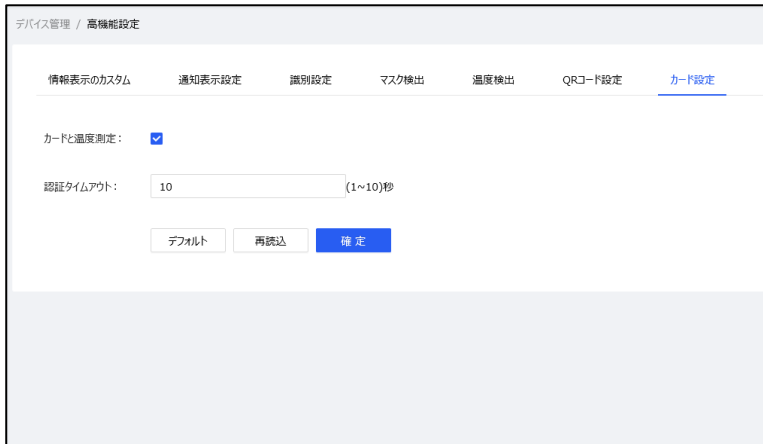
QRコード読み取り機能に関する設定は下記の通りです。本機のカメラでQRコードを読み込む場合は、「有効」、「内蔵カメラで認識」にチェックを入れてください。

項目名	説明
有効	QRコード読み取り機能を動作させます。
内蔵カメラで認識	内蔵カメラでQRコードを読み取ります。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

8.7 高機能設定（カード設定）

カードを本機にて認証する機能の設定です。

カード番号の登録は「3.2 登録者の追加」のカード番号の登録を参照ください。



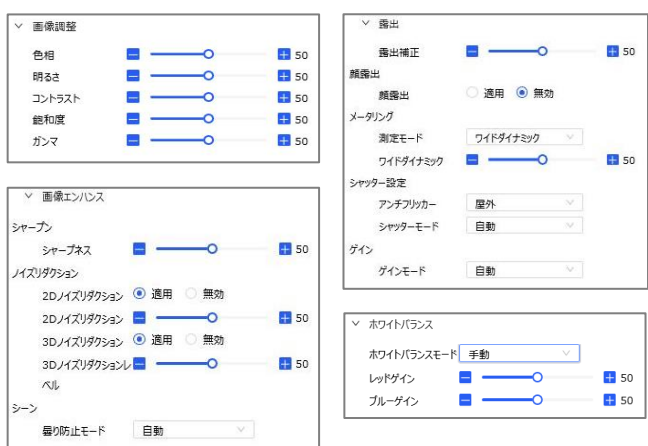
カード設定に関する設定は下記の通りです。

項目名	説明
カードと温度測定	※本モデルではご利用いただけません
認証タイムアウト	カードと顔認証読み取り時の認証タイムアウトを設定します。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

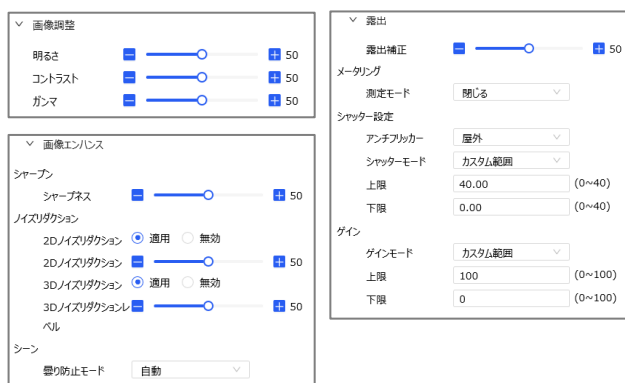
8.8 画像設定



①チャンネル番号 0（自然光）の設定内容



②チャンネル番号 1（赤外線光）の設定内容



下記カメラ画像に関する設定が出来ます。

項目名	説明
チャンネル番号	カメラ映像の設定を選択します。 ・ 0（自然光）：RGB カメラの設定を行う際に選択します。 ・ 1（赤外線光）：赤外線カメラの設定を行う際に選択します。
画像調整	色相、明るさ、コントラスト、飽和度、ガンマの調整が可能です。
画像エンハンス	シャープネス、ノイズ提言、配置シーンの調整が可能です。
露出	露光、顔露出、メータリング、シャッター設定、ゲインの調整が出来ます。
ホワイトバランス	モードの設定、手動モード時のレッド、ブルーゲインの調整が出来ます。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

8.9 日付設定



顔識別端末
D-Scope

デバイス管理 / 日付設定

タイムゾーン: GMT+09:00

システム時間: 2020-07-11 16:44:46
コンピューターの時刻と同期

NTP設定: ☐ 有効

NTPサーバ: ntp.nict.jp

ポート: 123 (0~65535)

時刻同期間隔: 60 (1~1440)分

デフォルト 再読み込み 確定

本機の日時設定及び、NTP サーバとの通信について設定出来ます。

項目名	説明
タイムゾーン	使用する国に応じて設定します。日本国内で使用する場合は「GMT+09:00」と設定してください。
システム時間	本機のシステム時間が表示されています。
コンピューターの時刻と同期ボタン	本機に接続しているコンピューターの時刻と同期を行う際にクリックします。 ※日時がズレた状態で運用されると、各種ログの収集、権限グループが正常に動作しません。運用を開始される際は必ず時刻同期を行ってください。
NTP 設定	NTP サーバ利用の有／無を設定します。利用される場合は有効にチェックを入れてください。 ※NTP サーバを利用される場合は本機を NTP サーバにアクセス出来る環境に設置いただく必要があります。
NTP サーバ	NTP サーバ名を指定します。
ポート	NTP サーバとの通信に使用するポート番号を指定します。
時刻同期間隔	NTP サーバと時刻同期を行う間隔を設定します。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

8.10 基本設定

基本設定
デバイス休止(週設定)
デバイス休止(休日設定)

デバイス名:

FaceDevice1

言語選択:

Japanese

音声ボリューム:

80

画面の明るさ:

80

LED照明の明るさ:

30

* スクリーンセーバーに入る時間:

30

(0~86400)秒

* スタンバイに入る時間:

0

(0~86400)秒

登録者の顔情報保存:

☒ 全て
☐ メタデータのみ

※設定を変更するには、登録者情報を全て消去する必要があります。

検出ログ保存:

☐ 全て
☒ 測定成功のみ

検出ログ画像保存:

☒ 適用
☐ 無効

休止時カード認証機能:

☒ 適用
☐ 無効

休止中メッセージ:

デバイス休止中

デフォルト

再読込

確定

項目名	説明
デバイス名	デバイス名を設定可能です。 ※デフォルトは「FaceDevice1」となっています。
言語選択	Japanese のまま変更出来ません。
音声ボリューム	本機のスピーカー及びスピーカーポートから出力される音声ボリュームが設定出来ます。 ※デフォルトは 100 となっています。
画面の明るさ	本機画面の明るさが設定出来ます。 ※デフォルトは 80 です。
LED 照明の明るさ	本機画面上部にある LED 照明の明るさが設定出来ます。 ※デフォルトは 30 です。
スタンバイに入る時間	スクリーンセーバー状態から液晶画面表示オフまでの時間が設定

	出来ます。※デフォルトは 0（表示オフなし）です。
登録者の顔情報保存	「全て」に設定をすると、端末に顔情報を保存します。 「メタデータのみ」に設定することにより、端末に顔情報を保存せず、特徴値のみ保存することが可能です。 ※留意事項：デバイスに登録者が未登録の状態でのみ、設定の変更が可能です。また「メタデータのみ」を選択時、顔画像登録後のイメージ確認・閲覧が出来なくなるほか、登録者情報の「エクスポート」を実施した際、顔画像の出力不可の状態となります。
検出ログ保存	「全て」にすると測定失敗時のログも含めて、検出ログに保存され、「測定成功のみ」にすると、測定失敗時のログは検出ログに保存されません。 ※工場出荷時のデフォルト設定は「測定成功のみ」です。
検出ログ画像保存	計測時の画像を本体に保存するかを設定出来ます。
休止時カード認証機能	「適用」にすると、デバイス休止実行中にカード(IC/QR)認証を許可します。「無効」にすると、デバイス休止実行中にカード(IC/QR)認証を行いません。
休止中メッセージ	デバイス休止実行中の表示メッセージを設定出来ます。 ※デフォルトは「デバイス休止中」。最大 32 文字まで設定可能。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

8.11 デバイス休止

デバイスを休止状態(認証機能停止)に移行する時間帯設定を行う機能です。休止状態中は、スクリーンセーバー設定が ON にされていれば、スクリーンセーバーの画像が表示され続けます。スクリーンセーバー設定がされていない場合は、稼働画面が表示され続けます。

スタンバイ状態には移行されませんのでご注意ください。P45 の休止中メッセージを設定することで、任意のメッセージを休止状態中のデバイスに表示することができます。

①週設定

基本設定
デバイス休止(週設定)
デバイス休止(休日設定)

☐ 有効

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
日曜日														設定
月曜日														設定
火曜日														設定
水曜日														設定
木曜日														設定
金曜日														設定
土曜日														設定

項目名	説明
有効	チェックを入れると、デバイス休止(週設定)が有効になります。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読込ボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

曜日の「設定」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

設定

現在の構成時間: 日曜日

☐ 時間帯 1 00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 2 00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 3 00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 4 00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 5 00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 6 00:00:00 ~ 23:59:59

現在の構成を次の場 ☐ 全て ☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 土曜日

所にコピー:

項目名	説明
時間帯	左側のチェックを入れて デバイスを休止したい時間帯を設定 します。時間帯は同じ曜日で最大 24 個まで設定出来ます。
現在の構成を次の場所にコピー	曜日にチェックを入れると、設定した休止時間帯をチェックした曜日にコピー出来ます。
確定ボタン	クリックすると設定した曜日の設定を確定させます。

全ての曜日の設定が完了したら、週設定画面での「確定」ボタンを忘れずにクリックしてください。

②休日設定

基本設定

デバイス休止(週設定)

デバイス休止(休日設定)

☐ 有効

休日No

1

休日名称

Default1

設定タイプ

日付設定

繰り返し設定

今回のみ

開始時間

2000

1

1

終了時間

2000

1

1

時間帯設定

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

設定

デフォルト

再読込

確定

項目名	説明
有効	チェックを入れると、デバイス休止(休日設定)が有効になります。
休日 No	休日設定インデックス内の何番目の休日にするかを選択します。 同一インデックス内に最大 32 個の休日が設定出来ます。
休日名称	休日 No に対応した名称を入力します。
設定タイプ	日付設定で固定されています。
繰り返し設定	今回のみ、毎年実行を選択します。 毎年実行を選択すると終了時間に関わらず、設定した日が毎年休日として動作します。
開始時間	設定する休日の開始日を入力します。
終了時間	設定する休日の終了日を入力します。 ※特定の 1 日を休日設定する場合は開始、終了日を同じ年月日にします。
確定ボタン	クリックすると設定した休日設定を確定させます。

時間帯の「設定」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。
設定方法は週設定の時間帯設定と同様です。

設定

☐ 時間帯 1	00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 2	00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 3	00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 4	00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 5	00:00:00 ~ 23:59:59
☐ 時間帯 6	00:00:00 ~ 23:59:59

< 1 2 3 4 >

取消 確定

時間帯設定が完了したら、休日設定画面での「確定」ボタンを忘れずにクリックしてください。

8.12 スクリーンセーバー設定

スクリーンセーバーの表示画像を任意の画像に変更できる機能です。

①スクリーンセーバー設定



スクリーンセーバーモード	「無し」はデフォルト画像、「画像」はユーザーが設定した任意の画像表示になります。
画像切替間隔	任意の画像を複数枚設定していた場合は切替間隔の秒数を指定できます。 ※デフォルトは 10 秒です。
再読み込みボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

②画像設定

スクリーンセーバー設定

画像設定

追加

削除

検索

☐	No.	表題	操作
☐	1	2.jpg	↓ 🗑️
☐	2	3.jpg	↓ 🗑️

項目名 (アイコン)	説明
追加	任意の画像を追加できます。
削除	チェックしてボタンを押すことで画像を削除できます。
検索	現在ご利用できません。
	ダウンロードボタン 画像をダウンロードする際に使用します。
	削除ボタン 画像を削除する際に使用します。

「追加」ボタンをクリックすると、下図の画像追加画面が表示されます。

画像追加

×

500KB以下、幅600px高さ1024px以下のjpgまたはpng形式の画像を登録してください。

* 画像:

+

アップロード

取消

保存

アップロードを押下し、設定したい画像を選択します。

登録できる画像は 500KB 以下、及び 600px 高さ 1024px 以下の jpg または png 形式となります。

推奨画素は幅 600px 高さ 1024px です。
推奨サイズ未満の画像は幅 600px 高さ 1024px にリサイズされて登録されます。

9. システム管理

9.1 アカウント管理

① アカウント管理

本機にログイン出来るアカウントを追加出来ます。



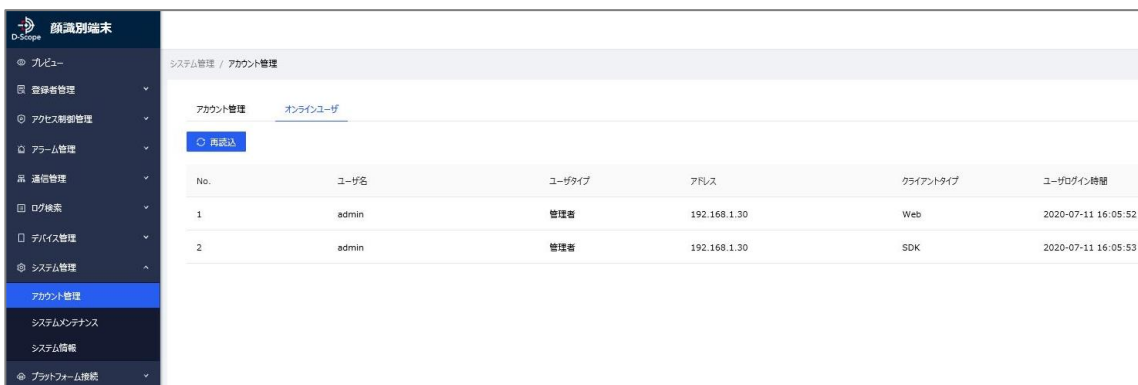

アカウント管理画面で「+ 追加」ボタンをクリックすると、左図のアカウント追加画面が表示されます。

必須項目を全て入力して「保存」ボタンをクリックすると、アカウントが追加されます。

※登録可能なユーザレベルは通常ユーザのみです。
※通常ユーザはアカウントの追加権限が制限されていますが、それ以外の項目は管理者と同様に設定が可能です

② オンラインユーザ

ブラウザ経由で本機にアクセスしているユーザを表示します。



9.2 システムメンテナンス



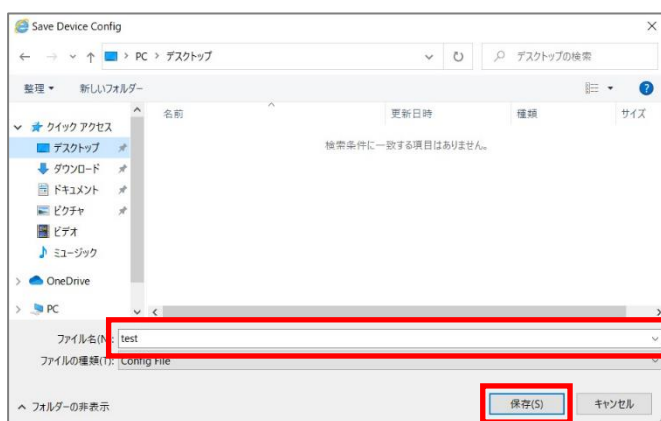
主に再起動、工場出荷設定の読込、パラメータのエクスポート／インポート、ファームウェアのアップグレードが実施出来ます。

項目名	説明
Telnet リモートログイン	Telnet で管理画面へアクセスする際はチェックを入れます。
自動再起動	本機を自動再起動させる際はチェックを入れます。
自動再起動時間	自動再起動させる曜日時刻を設定出来ます。
手動再起動ボタン	クリックすると本機が再起動します。
構成をクリアボタン	登録者情報を保持したまま、各種設定値をデフォルト値に戻します。
工場出荷設定に戻すボタン	登録者情報、ログ等をクリアして、各種設定を工場出荷状態に戻します。
パラメータのエクスポートボタン	現在の設定状態を devcfg ファイルにエクスポートします。
パラメータのインポートボタン	エクスポートされた devcfg ファイルをインポートします。
アップグレードボタン	ファームウェアをバージョンアップします。
デフォルトボタン	デフォルト設定に戻します。確定するまで変更は反映されません。
再読込ボタン	本機の現在の設定を読み込み、表示します。
確定ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

①パラメータのエクスポート手順



「パラメータのエクスポート」ボタンをクリックします。



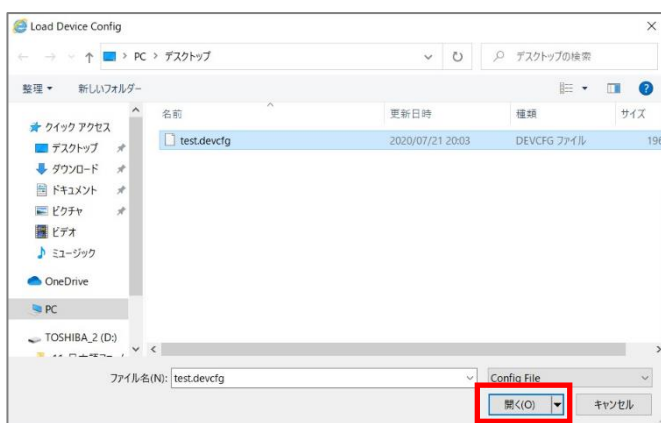
保存先を選択して、コンフィグファイルの名前を入力、「保存」をクリックします。

選択した保存先にファイルが保存されているかご確認ください。これでエクスポートは完了です。

②パラメータのインポート手順



「パラメータのインポート」ボタンをクリックします。



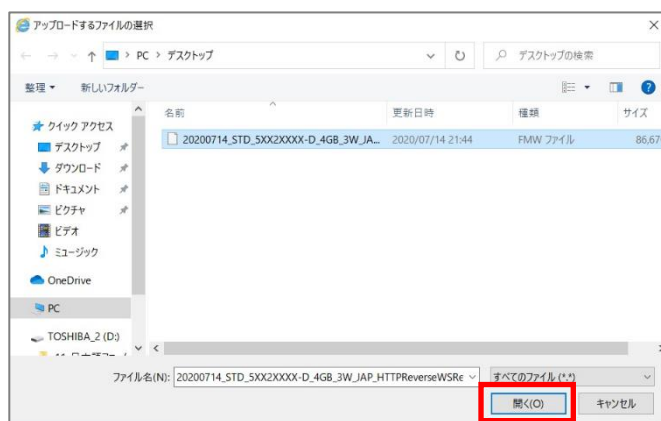
インポートするコンフィグファイルを選択して、「開く」をクリックすると、コンフィグファイルが本機に適用され、自動的に再起動します。

再起動完了後、再度本機管理画面（初期値：192.168.1.64）へログインして、設定内容が反映されているかご確認ください。これでパラメータのインポートは完了です。

③システムアップグレード手順



「アップグレードファイルをインポートしてください」の枠内をクリックします。



アップグレードするファームウェアファイルを選択し、「開く」をクリックします。



「アップグレード」ボタンをクリックすると、自動的にアップロード、ファイル解析、アップ

グレード、再起動が実行されます。再起動後、次ページで解説するシステム情報画面でファームウェアのバージョンがアップグレードされているか、ご確認ください。

9.3 システム情報



顔識別端末

- ◎ プレビュー
- 👤 登録者管理 ▼
- 🔒 アクセス制御管理 ▼
- 🔔 アラーム管理 ▼
- 📡 通信管理 ▼
- 📄 ログ検索 ▼
- 📱 デバイス管理 ▼
- ⚙️ システム管理 ▲
- アカウント管理
- システムメンテナンス
- システム情報
- 🌐 プラットフォーム接続 ▼

システム管理 / システム情報

デバイスタイプ:

STD-5MA0721-E-JD05

S/N:

5L07X140104

Ver.:

1.396.11.43.T

リリース時間:

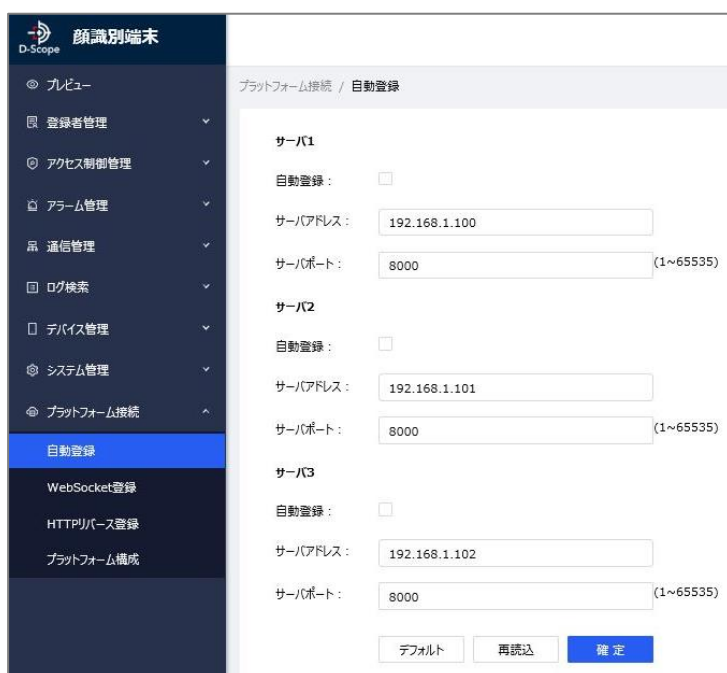
2021-03-20

項目名	説明
デバイスタイプ	本機の型番が表示されます。
S/N	本機のシリアル番号が表示されます。
Ver.	本機のファームウェアバージョンが表示されます。
リリース時間	ファームウェアのリリース年月日が表示されます。

10. プラットフォーム接続

※本機能はお客様側で開発されたシステムへ、本機から情報を送信する際に使用するものです。
本書では各項目のスクリーンショットのみ記載いたします。

10.1 自動登録



プラットフォーム接続 / 自動登録

サーバ1

自動登録: ☐

サーバアドレス:

サーバポート: (1~65535)

サーバ2

自動登録: ☐

サーバアドレス:

サーバポート: (1~65535)

サーバ3

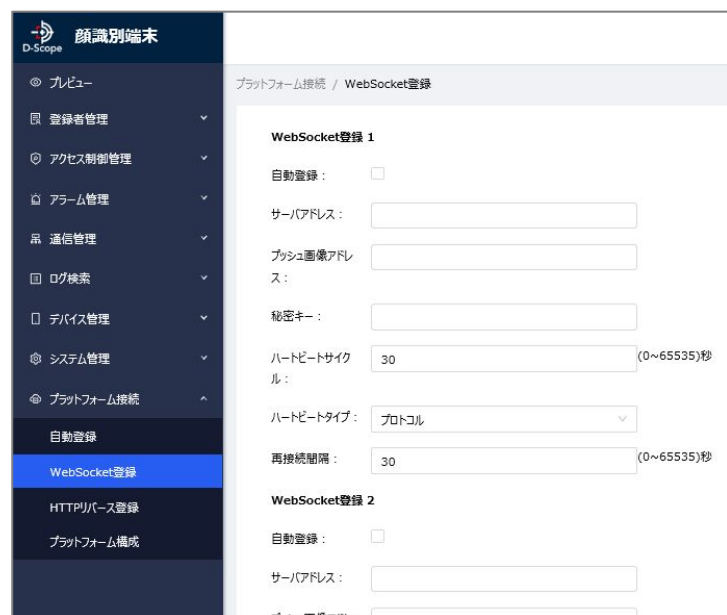
自動登録: ☐

サーバアドレス:

サーバポート: (1~65535)

デフォルト 再読み込み 確定

10.2 WebSocket 登録



プラットフォーム接続 / WebSocket登録

WebSocket登録 1

自動登録: ☐

サーバアドレス:

プッシュ画像アドレス:

秘密キー:

ハートビートサイクル: (0~65535)秒

ハートビートタイプ:

再接続間隔: (0~65535)秒

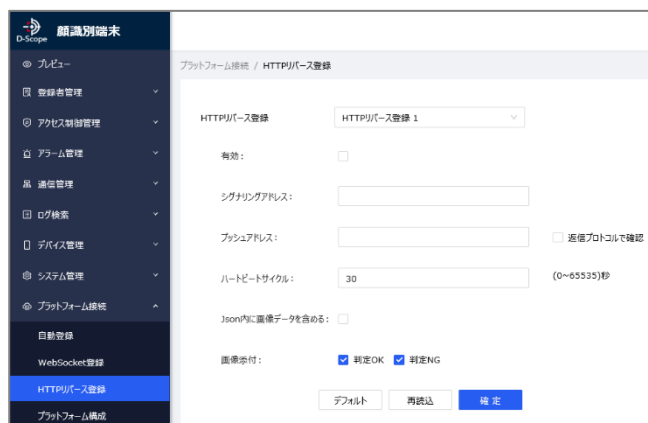
WebSocket登録 2

自動登録: ☐

サーバアドレス:

プッシュ画像アドレス:

10.3 HTTP リバース登録



本機から、認証結果等様々な情報を取得出来ます。

詳細は別紙 HTTP リバース仕様書で解説していますので、必要な場合は担当営業より入手してください。

10.4 プラットフォーム構成



11. facetCloud セットアップ

11.1 facetCloud セットアップ手順

設定通知書がお手元にあることをご確認ください。「WebSocket 登録登録／HTTP リバース登録」を設定することにより、facetCloud が使用可能となります。

facetCloud 設定通知書

株式会社データスコープ

株式会社〇×△様

この度はfacetCloudサービスをご利用いただき誠にありがとうございます。
この情報はfacetCloudサービスをご利用いただくうえで重要な情報となりますので、大切に保管して下さい。

■WebUI

URL	https://*****.facet-cloud.com/ui/
ID	service-admin
初期PW	●●●●●●●●

■WebAPI

API トークン	●●●●●●●●
テストページURL	https://*****.facet-cloud.com/api/test/
テストページID	●●●●●●●●
テストページPW	●●●●●●●●

■FaceFC WebSocket

サーバアドレス	wss://*****.facet-cloud.com/ws/device
---------	---------------------------------------

■カプシオンメニュー

IP制限	なし
サブドメイン	●●●●●●●●

■登録FaceFCシリアルナンバー

1	●●●●●●●●	11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

顔識別端末

プラットフォーム接続 / WebSocket登録

WebSocket登録 1

自動登録: ☒

サーバアドレス: wss://*****.facet-cloud.com/ws/device

プッシュ画像アドレス:

秘密キー:

ハートビートサイクル: 15 (0~65535)秒

ハートビートタイプ: プロトコル

再接続間隔: 15 (0~65535)秒

WebSocket登録 2

自動登録: ☐

「WebSocket 登録登録」画面より、「自動登録」にチェックをいれ、設定通知書に記載されている、「サーバアドレス」を入力してください。

ハートビートサイクル: (0~65535)秒

ハートビートタイプ:

再接続間隔: (0~65535)秒

デフォルト 再読み込み 確定

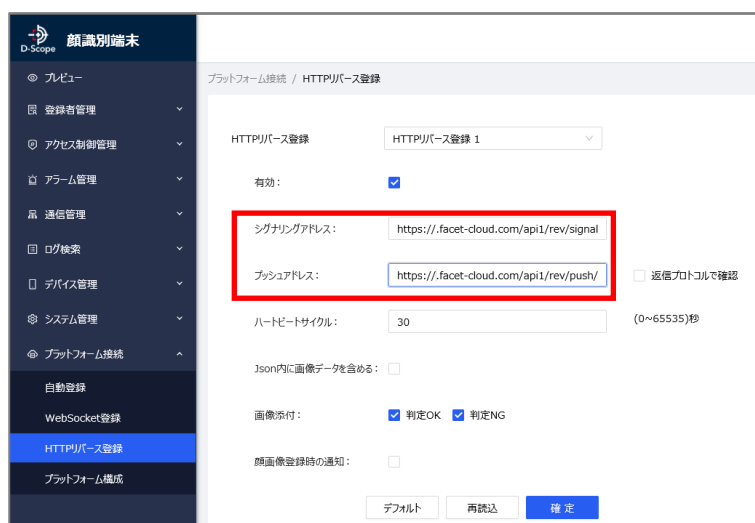
入力後「確定」をクリックします。
そのまま、30 秒ほど放置してください。

11.2 facetCloud 接続確認

下記 2 点が払い出されていることをご確認ください。払い出し後、設定通知書に記載されている「WebUI」より facetCloud の接続が可能となります。

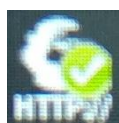
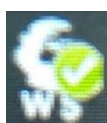


1. 「WebSocket 登録登録」画面を再読み込みして、サーバアドレスにデバイストークンが払い出されていることを確認。



2. 「HTTP リバース登録」画面より、シグナリングアドレス、プッシュアドレスが払い出されていることを確認。

※上記アドレスは、facetCloud と初めて接続を行った際のみ発行されます。消去すると facetCloud と接続できなくなりますので、消去しないようご注意ください。誤って消去してしまった場合は、facetCloud の「端末メンテナンス」→「カメラ接続初期化」から「初期化処理」を実施していただき、再度 11.1 から実施ください。



(✓ : 通信を行っている状態) デバイス画面上の WS/HTTP アイコンからが緑になっていれば facetCloud と通信できている状態です。※各デバイス画面情報の設定については、P.38「8.1 高機能設定 (情報表示のカスタム)」をご参照ください。

11.3 facetCloud と接続できないときは

facetCloud(インターネット)に接続できないネットワークに接続されている、もしくは誤ったネットワーク設定となっている可能性があります。通信管理→ネットワーク設定→ネットワークテストにて、facetCloud のドメイン名を入力して、サーバに接続できていることを確認してください。

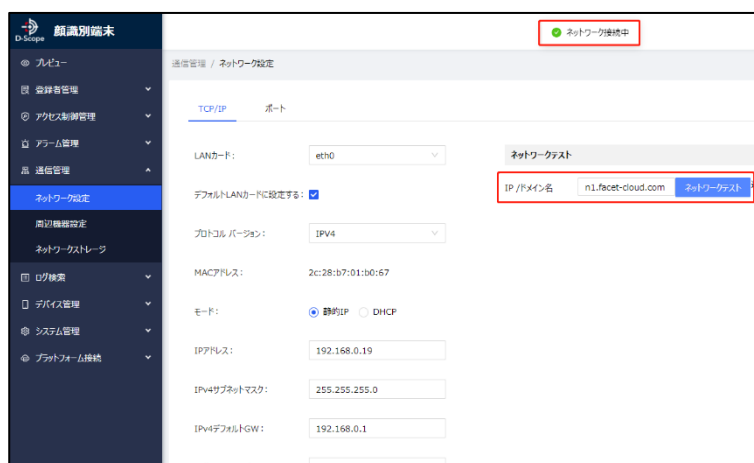
例：

サーバアドレスが「wss://n1.facet-cloud.com/ws/device」
なら facetCloud ドメイン名は「n1.facet-cloud.com」

(✓ : facetCloud のドメイン名)

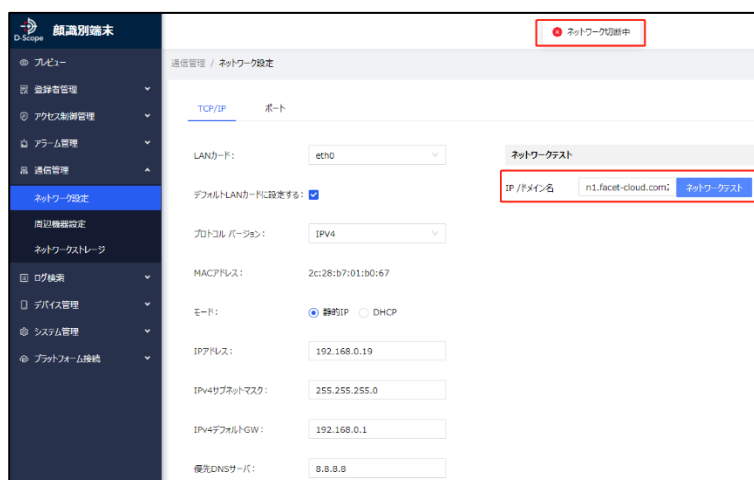
設定通知書のサーバアドレスの「wss://」
と「/ws/device」で囲まれている値がドメイン名となります。

▼接続が出来ている場合



ドメイン名を入力して「ネットワークテスト」を押すと、画面上部から「ネットワーク接続中」と表示される。

▼接続が出来ていない場合



ドメイン名を入力して「ネットワークテスト」を押すと、画面上部から「ネットワーク切断中」と表示される。

→facetCloud(インターネット)と接続ができていません。接続しているネットワーク環境や IP 設定などを確認してください。

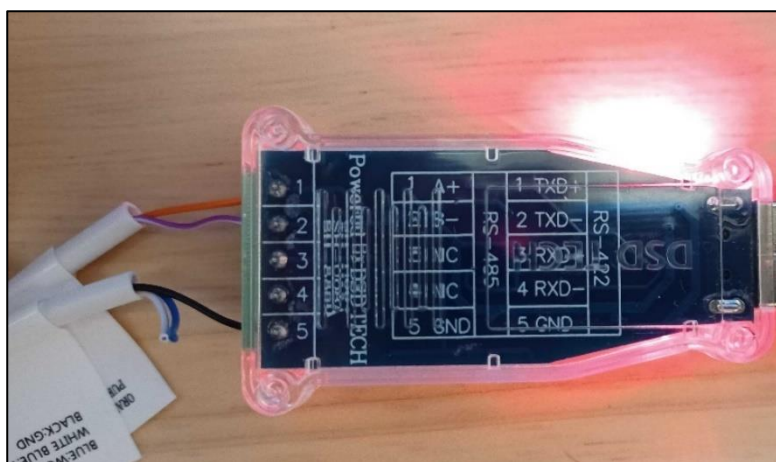
12. RS-485 セットアップ

12.1 RS-485 セットアップ手順

Face FC を RS-485 にて外部制御するためのセットアップ手順をご紹介します。

▼外部デバイスと RS485 端子のセットアップ：

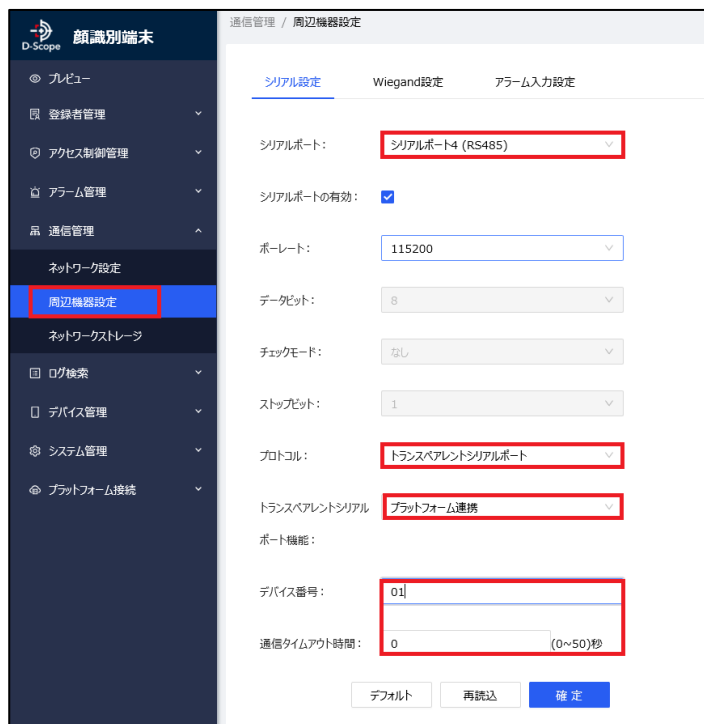
- ・ 外部デバイスのデータ線を、Face FC の RS485A（橙色）、RS485B（紫白）と、接続します。
- ・ 外部デバイスの GND 線を、Face FC の Wiegand ポート GND（黒色）と、接続します



- ・ 下記通信設定に従い、PC のセットアップを実施し、完了となります。

No.	項目	内容	設定
1	通信規格	RS-485	-
2	接続方法	2線式/マルチドロップ	-
3	通信方式	半二重方式	-
4	通信設定	ボーレート	9,600 bps 19,200 bps 38,400 bps 115,200 bps
		ストップビット	1ビット
		データ長	8ビット
		パリティビット	なし
		ストップビット	1ビット
		スループット(電文)間隔	80msec以上

▼FaceFC セットアップ：管理画面より Menu>周辺機器設定>シリアル設定へ移動し下記記載の通り各項目を設定の実施。実施後確定を押して頂き完了となります。



シリアルポート	シリアルポート 4 (RS485)
シリアルポートの有効	チェック
ボーレート	9600, 19200, 38400, 115200(デフォルト)から選択
プロトコル	トランスパレントシリアルポート
トランスパレントシリアル	プラットフォーム連携
デバイス番号	通信中デバイスの一意識別番号、数字 2 桁
通信タイムアウト時間	任意。受信間隔、0 の場合はチェックなし、1 以上の場合は受信間隔秒数

▼接続確認：テスト用指令電文用いて接続できていることをご確認ください。

※テスト用電文例ではデバイス番号 01 のケースで記載しております。FaceFC セットアップにて設定したデバイス番号を設定の上接続確認をお試ください。

※詳細な通信仕様については「FaceFC RS-485 通信仕様書」を参照ください。

デバイス番号： 01	送信電文例
Poling	02 30 31 30 31 30 03 F2
デバイス休止	02 30 31 30 33 30 03 F4
[お待ちください]メッセージ表示	02 30 31 30 34 36 E3 81 8A E5 BE 85 E3 81 A1 E4 B8 8B E3 81 95 E3 81 84 03 1E
運用開始	02 30 31 30 32 30 03 F3
メッセージ消去	02 30 31 30 35 30 03 F6